

改訂版

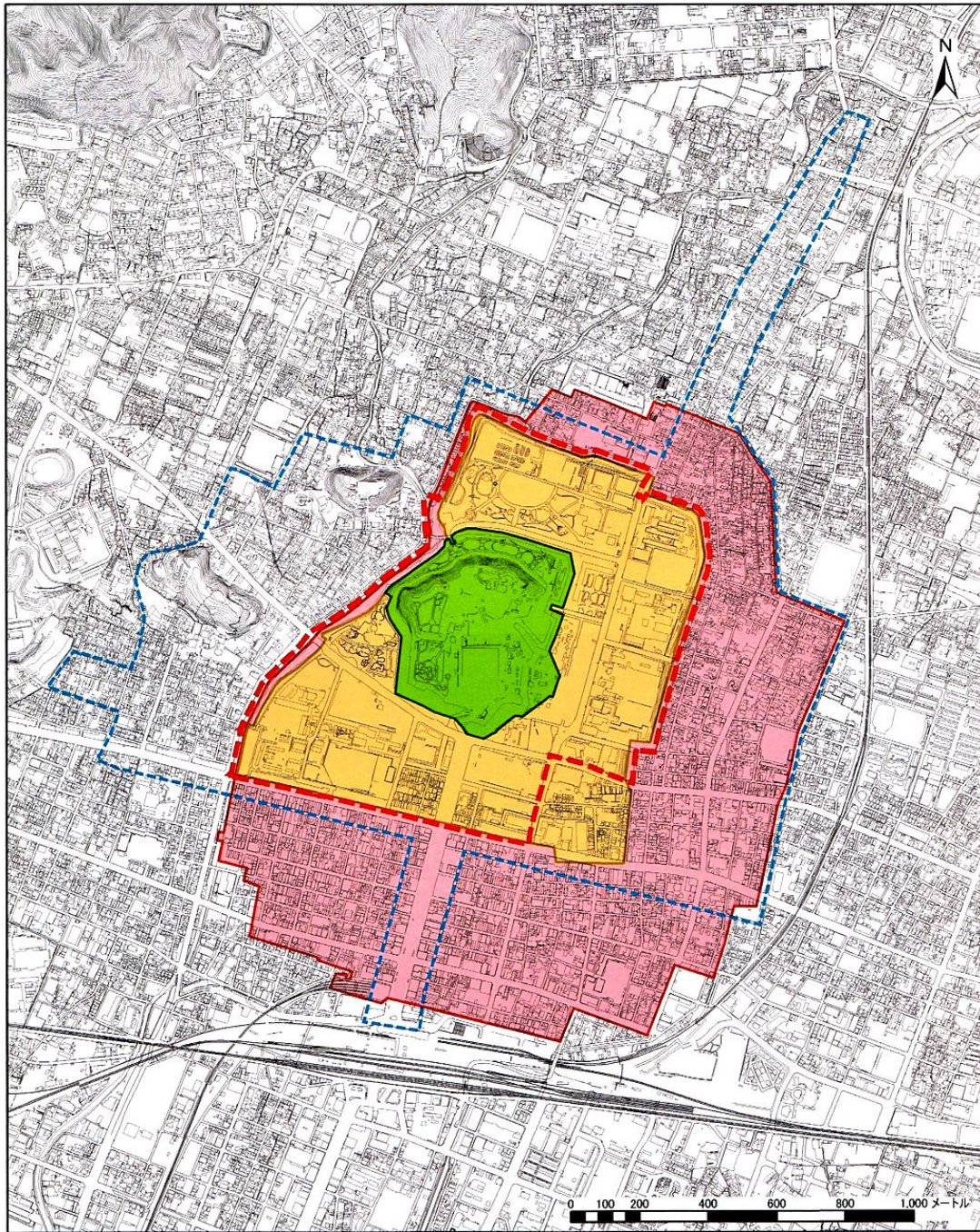
なに？なぜ？

# 姫路城の？





## 姫路城の曲輪と世界遺産登録範囲



凡 例	
内曲輪	世界遺産登録範囲
中曲輪	世界遺産バッファゾーン
外曲輪	

姫路城の内曲輪、中曲輪、外曲輪、世界遺産登録範囲、世界遺産バッファゾーンを示します。

姫路城の面積 234ha（ピンク、橙、緑の網掛け部）

世界遺産登録範囲の面積 107ha（赤の点線内で中曲輪から総社、郵便局等は除外）

バッファゾーン（景観調和のための緩衝区域）の面積 143ha（青の点線と赤の点線の間の面積）

世界文化遺産登録範囲と世界遺産バッファゾーンの広さ（250ha 青の点線内全面積）



## はじめに

姫路城は日本の国宝であり、1993年には日本初の世界文化遺産に登録されました。世界遺産に登録されたことは姫路市民にとってはうれしく、誇らしいことですが、その反面、私たちには姫路城の価値を理解すること、姫路城を次の世代に保存継承すること、そして教育・広報活動を行うことが求められています。

だから私たち姫路市民は姫路城に関する知識を深め、次代の人たちに伝える義務があります。そのためには小学生のみなさんの年代から姫路城に興味を持ち、関心を高めてもらいたいのです。

その目的で姫路城観光ガイドとOBの有志で結成する私たち「しろまる会」が約10年前に「姫路城のなになぜ」という小学生向けの冊子を発行しました。

その内容は私たち姫路城観光ガイドが20年間に案内した約1万人の小学生のみなさんから来城前に質問集を貰っていたので、それらを姫路城の概要、歴史、伝説などの項目に整理し、項目ごとに更に細かく分類し、1問1答の形でまとめて編集したものです。

しかし、その後、平成の修理、新しい発見、さらに私たちしろまる会が結成以来行っている市内の小学校への「姫路城」出前授業の時に出了た質問、好古園に関する質問などの「姫路城のなになぜ」に追加・修正すべき項目がかなり出てきました。

今回の改訂版「姫路城のなになぜ」は初版に平成の修理、好古園、参考写真などの追加・修正を行い、姫路市からの支援を得て発行しました。

みなさんがこの冊子を読み、姫路城を知ることがはふるさと“姫路の歴史”を知ることにつながります。将来、皆さんが大人になった時に市外或いは外国の人たちに姫路城の紹介、解説ができるようになってくれることを期待しています。

そして姫路市と姫路城の知名度が今以上に上がり、来城者が増え、観光業がにぎわい、姫路市がさらに発展することを願っています。

2020年10月

しろまる会



## 目 次

1. お城とは ..... P-1
  - (1) お城は何のために造られたのですか
  - (2) 昔はどうやってお城を建てたのですか
  - (3) 天守閣の名前はどこからきたのですか
  - (4) 天守を建てる理由は何ですか
  
2. 姫路城の築城 ..... P-2
  - (1) なぜ姫路に建てられたのですか
  - (2) なぜ建てることにしたのですか
  - (3) 姫路城の大きさはどれくらいですか
  - (4) 姫路城の大きさは、日本で何番目ですか
  - (5) なぜ白鷺城と呼ばれるのですか
  - (6) 誰が白鷺城と名付けたのですか
  - (7) 姫路城の特徴はなんですか
  
3. 姫路城の歴史 ..... P-3
  - (1) 姫路城を最初に築いた人は誰ですか
  - (2) 現在の姫路城はいつ、誰が築城したのですか
  - (3) 天守を作るのに何年くらいかかったのですか
  - (4) 築城に動員された人数は何人くらいですか
  - (5) 築城費用はどのくらい必要でしたか
  - (6) 姫路城には何人の城主がいましたか
  - (7) 築城してから、大天守は何回くらい修理しましたか
  - (8) 姫路城はなぜ売ることにしたのですか
  - (9) 姫路城はいくらで売れたのですか
  - (10) なぜ、姫路城は残っているのですか
  
  - (11) 姫路城は火災にあったことはありますか
  - (12) 姫路城は太平洋戦争で何回空襲を受けましたか
  - (13) 姫路城では空襲に対してどのような準備をしましたか
  
4. 縄張り ..... P-6
  - (1) 「縄張り」とは何のことですか
  - (2) 姫路城の縄張りにはどのような特徴がありますか
  - (3) 姫路城の縄張りは誰が考えたのですか
  - (4) 「曲輪」とはどういう意味ですか
  - (5) 姫路城の内曲輪が細かく分かれているのはなぜですか
  - (6) 「大手」と「搦め手」はなぜ必要ですか
  
5. 普 請 (土木工事) ..... P-7
  - 5-1. 堀
    - (1) 堀はなぜ必要ですか
    - (2) なぜ空堀と水堀があるのですか
    - (3) 水堀にはどんな種類がありますか
    - (4) 姫路城の堀の大きさはどれくらいですか
    - (5) 姫路城の堀の水はどこからきていますか
    - (6) 姫路城の堀はなぜ内中外と行くにつれて狭くなるのですか
    - (7) 姫路城の三国堀はなぜ必要ですか
  
  - 5-2. 石 垣・土 塁 ..... P-8
    - (1) 石垣の積み方にはどのような種類がありますか
    - (2) 石垣はどのように積んだのでしょうか
    - (3) 石垣はなぜ傾斜しているのですか
    - (4) 石垣の内側はどのようになっていますか
    - (5) 姫路城の石垣の石の種類と産地を教えてください
    - (6) 「笑い積み」とはどんな積み方ですか



- (7) 姫路城ではどれくらいの石が使われていますか
- (8) 姫路城で一番高い石垣はどこですか
- (9) 姫路城の石垣で大きな石はどれくらいの大きさですか
- (10) 転用石とは何ですか
- (11) 姫路城の「転用石」にはどんなものがありますか
- (12) 姫路城の石垣刻印の意味は何ですか
- (13) 石垣の間にある丸太は何ですか
- (14) 姫路城「菱の門」南側の石垣はなぜ必要ですか
- (15) 敵兵は石垣を登れますか
- (16) 石垣の色が途中から違うのはなぜですか
- (17) 姫路城の土塁の大きさはどの位ですか
- (18) 姫路城の土塁の長さはどの程度ですか

5-3. 井戸..... P-12

- (1) 姫路城の井戸はいくつありましたか
- (2) 姫路城の井戸の深さはどのくらいですか

6. 作事（建築工事）..... P-12

6-1. 天守

- (1) 天守の役割は何ですか
- (2) 姫路城の天守はどのような形式ですか
- (3) 姫路城の天守の特徴は何ですか
- (4) 姫路城の壁はなぜ白いのですか
- (5) 姫路城の大天守は何階建てですか
- (6) 姫路城の大天守の高さはいくらですか
- (7) 姫路城の大天守は日本で何番目の高さですか
- (8) 姫路城の大天守の重量はどれくらいですか
- (9) 天守の地階（穴倉）はなぜ必要ですか
- (10) 姫路城の大天守の正面はどちらですか
- (11) 姫路城の大天守には柱が何本ありますか
- (12) 姫路城の大天守の構造の特徴は何ですか
- (13) 姫路城の大天守にはどんな防御方法がありますか
- (14) 戦の場合、姫路城の天守に籠る人数は何人ですか
- (15) 姫路城の大天守地階の便所はどこにありますか
- (16) 姫路城以外に天守内に便所・台所があるお城はありますか
- (17) 姫路城の大天守に部屋と窓はいくつありますか
- (18) 姫路城の大天守には畳や障子・ふすまがありましたか
- (19) 姫路城の天守内で生活していましたか
- (20) 姫路城の天守の階段はなぜ急角度ですか
- (21) 天守、櫓の窓の下から出ている筒は何ですか
- (22) 幻の窓とは何ですか

6-2. 櫓..... P-16

- (1) 櫓の意味とその種類を教えてください
- (2) 西の丸「百間廊下」にはいくつの部屋がありますか
- (3) 姫路城にはどんな蔵がありましたか

6-3. 城門..... P-16

- (1) 姫路城にはどのような種類の城門がありますか
- (2) 姫路城にはどれくらいの城門がありますか
- (3) 姫路城のい、ろ、は・・・の門の由来を教えてください
- (4) 姫路城で特徴のある城門はどの門ですか
- (5) 姫路城の「菱の門」の名前の由来は何ですか
- (6) 姫路城の「との一門」が素木造りであるのはなぜですか
- (7) 姫路城の「との三門」はどうしたのですか

6-4. 瓦..... P-18

- (1) 姫路城の瓦の枚数は何枚ですか

- (2) 姫路城の大天守には何種類の瓦がありますか
- (3) 瓦の模様の意味は何ですか
- (4) 鬼瓦の意味と姫路城の珍しい鬼瓦を教えてください
- (5) 鯨瓦の目的は何ですか
- (6) 姫路城の鯨瓦にはどのような特徴がありますか
- (7) 櫓とか建物の軒の下に瓦が並べてありますが何ですか

6-5. 土 堀..... P-19

- (1) 姫路城の土堀にはどのような特徴がありますか
- (2) 姫路城にはどれくらいの土堀がありますか
- (3) 姫路城の「油壁」は何でできていますか
- (4) 漆喰壁とはどんな壁ですか

6-6. 狭間・石落とし..... P-20

- (1) 「狭間」とは何ですか
- (2) 姫路城にはどんな「狭間」がありますか
- (3) 「狭間」にはなぜ内と外で大きさが違うのですか
- (4) 姫路城には「狭間」がいくつあるのでしょうか
- (5) 「石落とし」の目的は何ですか
- (6) 姫路城にある「石落とし」はいくつありますか

6-7. その他.....P-21

- (1) 天守や櫓の飾り屋根（千鳥破風や軒唐破風）について教えてください
- (2) 「武具掛け」とは何ですか
- (3) 「釘隠し」とは何ですか
- (4) お城の窓はなぜ格子窓になっているのですか

7. 防御の工夫・仕掛け..... P-22

- (1) 侵入者を防ぐためにどのような工夫がしてありますか
- (2) 姫路城には「抜け道」がありますか

8. 人 物..... P-24

- (1) 千 姫 (1597~1666)
- (2) 羽柴秀吉 (1536~1598)
- (3) 黒田官兵衛 (1546~1604)
- (4) 池田輝政 (1564~1613)
- (5) 本多忠政 (1575~1631)
- (6) 榊原忠次 (1605~1665)
- (7) 河合寸翁 (1767~1841)
- (8) 宮本武蔵 (1584~1645)
- (9) 中村重遠大佐 (1840~1884)

9. 伝 説..... P-27

9-1. 姥が石

- (1) 姥が石というのは何ですか、どこにありますか

9-2. 桜井源兵衛と傾いた大天守..... P-28

- (1) 姫路城が傾いていたのは本当ですか
- (2) 桜井源兵衛が自殺したのはなぜですか

9-3. お菊井戸..... P-28

- (1) お菊さんの話は本当ですか
- (2) なぜ、お菊さんの話が広まったのですか
- (3) お菊井戸の深さはどれくらいですか
- (4) お菊虫はまだいますか
- (5) お菊神社はどこにありますか
- (6) お菊神社はなぜ建てられたのですか
- (7) お菊さんは何才で死んだのですか



- 9 - 4. 腹切丸 ..... P-29
- (1) 腹切丸はどこにありますか
  - (2) なぜ腹切丸というのですか
10. 昭和の大修理 ..... P-30
- (1) 「昭和の大修理」による天守の修理は何年かかったのですか
  - (2) 「昭和の大修理」による天守の修理はどのように行われたのですか
  - (3) 「昭和の大修理」では天守台の石垣も修理しましたか
  - (4) 「昭和の大修理」時の大天守の素屋根はどんな構造でしたか
  - (5) 「昭和の大修理」時の大天守の心柱はどのように修理しましたか
11. 平成の修理 ..... P-31
- (1) 「平成の修理」はどんな修理ですか
  - (2) 「平成の修理」の素屋根にはどんな特徴がありますか
  - (3) なぜ姫路城を修理しているのですか
  - (4) 将来にも姫路城の解体修理は必要ですか
  - (5) これまでに何回くらい修理をしていますか
  - (6) 姫路城を維持するのに毎年どれくらいかかりますか
12. 世界文化遺産 ..... P-32
- (1) 姫路城はいつ世界文化遺産に登録されたのですか
  - (2) 姫路城はなぜ世界文化遺産に登録されたのですか
  - (3) 姫路城以外に世界文化遺産のお城はどこですか
13. 観 光 ..... P-33
- (1) 年間見学者は何人くらいですか
  - (2) 年間何回くらいTVの撮影がありますか
  - (3) 姫路城はどれくらい有名ですか
  - (4) お城の女王をなぜ選ぶのですか
  - (5) なぜ内曲輪に動物園があるのですか
14. その他 ..... P-34
- (1) 殿様はどこに住んでいたのですか
  - (2) お城には何人位住んでいたのですか
  - (3) 忍者はお城にいましたか
  - (4) なぜ無戦の城というのですか
  - (5) 侍は朝昼晩とご飯はお城で食べたのですか
  - (6) なぜ大天守に神社があるのですか
  - (7) なぜ広嶺山に官兵衛神社が建てられたのですか
15. 好古園（姫路城西御屋敷跡庭園） ..... P-36
- (1) 好古園の名前の由来は何ですか、江戸時代からありましたか
  - (2) どれくらいの広さですか、甲子園球場より大きいのですか
  - (3) 好古園の見所はどこですか
  - (4) 好古園内から天守は見えますか
  - (5) テレビや映画のロケ場所がありますか
  - (6) 何人くらいお客さんが来ますか
  - (7) 鯉は何匹いますか
  - (8) 池には鯉以外に何がいますか
  - (9) ホタルはいますか
  - (10) 園内の花について教えてください
  - (11) お庭には休憩所のような建物が有りますが、何という建物ですか
  - (12) 通路の築地塀の色が違うのはなぜですか
  - (13) お庭にはどんな灯籠が有りますか
  - (14) 垣根の名前を教えてください
  - (15) 瓦のマークは何か意味がありますか

## 1. お城とは

### (1) お城は何のために造られたのですか

お城は弥生時代からあり、戦国時代初期までは敵の攻撃を防ぐのを主目的に築かれました。戦国時代後半以降は戦いのためだけでなく、人が住み、政治を行なうために築かれました。

江戸時代の姫路城では、内堀内（内曲輪）に天守、櫓、門などの他に城主とその家族が住むための奥御殿と侍達が仕事をするための表御殿（役所）がありました。内堀と中堀の間（中曲輪）には侍達の屋敷があり、中堀と外堀の間（外曲輪）には町屋、寺社、下級武士や足軽の屋敷がありました。

### (2) 昔はどうやってお城を建てたのですか

全て、人の力で堀をほり、石垣を築き、柱を立て、瓦をふき、壁を塗りました。大きな石はソリに乗せて運びました。高い場所へはゆるやかな長い坂を作り、石、木材などをたくさんの人が力を合わせ、綱で引っ張りあげたようです。

### (3) 天守閣の名前はどこからきたのですか

名称の由来には諸説があり、織田信長は天守に住み「天主」と命名しましたが、その後「天守」と呼ばれるようになったようです。平安時代の貴族の館の主殿が逆読みになった説、或は仏教からきた説、或はキリスト教のデウス（天主）からきた説、その他がありますが、今のところ不明です。

初期の天守は大型の櫓に高級な住宅建築である書院造を応用したもので、1579年に完成した安土城天主がその初めての大規模天守といわれています。

江戸時代後期には庶民の間で「天守閣」とも呼ばれましたが、現在では正しくは「天守」と言います。

### (4) 天守を建てる理由は何ですか

天守を建てる最大の理由は領主の権威、権力を示すためで、その他に戦の時の見張り用、司令塔、大きな倉庫、最後の抵抗拠点（籠城）などの役目があります。

だから、天守の外観は立派にしますが、内部は天井も張らずに簡素にしています。

天守は城主の住まいではありません。城主は御殿といわれる平屋の建物に住んでいました。天守に人が住んだのは織田信長の安土城のみです。

大大名でも島津（鹿児島城）、黒田（福岡城）、伊達（仙台城）などのお城は築いたけれども、住居ではない天守は建てる必要がない上、大金もかかるので、初めから建てなかったし、江戸城、大阪城のように天守を建てたけれど火事で焼けた後は天守を再建しませんでした。明石城、赤穂城、篠山城、龍野城など天守を持たないお城のほうが圧倒的に多いのです。



## 2. 姫路城の築城

### (1) なぜ姫路に建てられたのですか

姫路は昔の播磨の国の中央に位置し、西国街道、但馬街道、因幡街道などが交わる交通の要所であり、海にも近く、播磨の国を治めるのに便利であったからだと思います。

2007年度で、昔の播磨国に含まれる市町村  
(東西約80km, 南北約60km)



### (2) なぜ建てることにしたのですか

1600年の関ヶ原合戦で徳川方が勝ちましたが、大阪には豊臣秀吉の息子の秀頼がおり、中国地方や九州地方には豊臣方の外様大名が多数いました。大阪と中国地方、九州地方の大名が手を結ぶと大勢力になり、徳川にとってつごうが悪いので、両者を分断し、けん制するために建てられました。だから姫路城は大きく、大天守は秀吉時代の大阪城よりも高くしています。

### (3) 姫路城の大きさはどれくらいですか

現在お城といわれている内曲輪の広さは、東西で最大約460m、南北で最大約550m、周囲約1,780mで面積は約23ヘクタールです。これは甲子園球場の約6倍の大きさです。

内・中・外曲輪全体の大きさは、東西で最大約1,560m、南北は最大約1,710m、周囲は約5,200mで、面積は約234ヘクタールで甲子園球場の約60倍の大きさがあります。江戸時代には現在のJR姫路駅の北側に外堀がありましたので、皆さんが現在お城と思っている内曲輪の面積の約10倍の大きさがありました。



姫路城の城域 (平成18年)

(4) 姫路城の大きさは、日本で何番目ですか

「城下町（外曲輪）」の面積比較では、①江戸城 ②小田原城 ③山形城 ④姫路城という資料があります。「内曲輪」の面積比較でも、①江戸城 ②大阪城 ③小田原城 ④名古屋城 ⑤金沢城 ⑥仙台城 ⑦姫路城とされています。

(5) なぜ白鷺城と呼ばれるのですか

次のような諸説がありますが、いずれにしても「ハクロ城」と読みます。

- ①姫路城は壁だけではなく、屋根瓦の目地にも白漆喰を塗っており、完成した当時は天守全体が白く、天守群はあたかも白い鳥、白鷺が飛立つように見えるので、白鷺城と呼ばれた。
- ②隣の岡山城が板張りの黒い城なので烏城又はカラス城と呼ばれるのに比べ、姫路城は白い城なので白い鳥、白鷺城と呼ばれた。
- ③白鷺がお城の周りに多数住んでいたのが、白鷺城と呼ばれた。
- ④西の丸のある丘を昔は桜木山と言っていたが、それがなまって鷺山となり、鷺山に建つ城なので白鷺城と呼ばれた。

参考：体全体の羽が白いダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギの4種を通称「シラサギ」と呼んでいます。これは「白いサギ」の総称です。ですから正確にはシラサギという名前のサギはいません。

(6) 誰が白鷺城と名付けたのですか

名付け親は不明ですが、酒井家初代城主「忠恭」の号（ペンネーム）は“鷺山”、3代城主「忠道」の号は“白鷺”としていたので、城主が酒井家の時代には、一般的に白鷺城と言われていたのではないかと考えられます。

(7) 姫路城の特徴はなんですか

多くの特徴がありますが代表的なものは以下のとおりです。

- ①大天守と3つの小天守で形成する連立式天守である。
- ②白漆喰総ぬりこめである。全ての建物の軒裏まで漆喰を塗りこめている。
- ③天守、櫓、門など82の建造物が昔の姿で残っており、日本のお城の構成がよく分かる。
- ④大天守は2本の通し柱方式で建てられている。
- ⑤螺旋（渦巻き）の縄張りとなっており、どの方角から攻められても3重の堀をわたらねばならない。
- ⑥総構えといって、城郭の中に侍だけではなく、町民も住まわせていた。大多数の城では侍は城内に住ませたが町民は城外に住まわせていた。
- ⑦敵を防ぐための仕掛けがたくさんあり、美しさに加え実戦的なお城である。

### 3. 姫路城の歴史

(1) 姫路城を最初に築いた人は誰ですか

従来は鎌倉時代の1333年に赤松則村が京都に兵を進める途中、姫山に縄張りをし、1346



年に息子の赤松貞範が城を築いたのが最初の築城と言われてきました。

しかしその後、史料を検討した結果、1555年から1561年の間に、その頃姫路を治めていた黒田重隆・職隆父子が御着城の出城として築いたとも言われています。

(2) 現在の姫路城はいつ、誰が築城したのですか

現在の姫路城は、池田輝政によって築城されました。輝政が築城を開始したのは1601年で1609年に天守が完成しました。すなわち年数は8年、足掛け9年を費やしています。作業員は一日一万人と言われていました。

しかしこれだけの大城郭であるので、その後、輝政が亡くなる1613年まで、関連工事は続けられていたのでしょう。その後、本多忠政によって西の丸が築かれ、外曲輪、中曲輪の諸門が整備され1618年に現在の姫路城が完成しました。

(3) 天守を作るのに何年くらいかかったのですか

お城全体は前の項目の様に8年間をかけていますが、その内、大天守はわずか1年間で造られました。たくさんの大工、領民が建設工事に動員されたと思われませんが、タダ働きではありません。くわしい額は記録がないので分かりませんが日当が出ていました。

(4) 築城に動員された人数は何人くらいですか

築城に要した人数は史料がなくわかりません。当時は石高100石について一人の人夫を割り当てることが一般的であったとの記録があるので、池田輝政の築城についても播磨国52万石を二割増し62万石とした領土に、息子忠継の備前国28万石を合わせて計算すると、延べ動員人数は約2,400万人と算出されます。

(5) 築城費用はどのくらい必要でしたか

築城費用を推測できる史料は残されていません。今の時代に姫路城を築城した場合の費用を「最近の木造天守復元」例から想定すると、約2,000億円との試算があります。また他の試算では、約6,000億円ともいわれ、

いずれにしても巨額の費用が必要であったのでしょう。

池田輝政以降の姫路城主

家名	城主名	期間
池田家	輝政、利隆、光政	1600～1617
本多家	忠政、政朝、政勝	1617～1639
松平家(奥平)	忠明、忠弘	1639～1648
松平家(結城)	直基、直矩	1648～1649
榊原家	忠次、政房	1649～1667
松平家(結城)	直矩	1667～1682
本多家	忠国、忠孝	1682～1704
榊原家	政邦、政祐、政岑、政永	1704～1741
松平家(結城)	明矩、朝矩	1741～1749
酒井家	忠恭、忠以、忠道、忠実、忠学、忠宝、忠顕、忠績、忠惇、忠邦	1749～1869

(6) 姫路城には何人の城主がいましたか

初めて築城された時期については二つの説がありますが、最も古い赤松貞範(1346年)から明治の版籍奉還(1869年)までの523年間に48代の城主が在城しました。

黒田氏築城(1555年頃)以降では、黒田重隆から最後の城主

酒井忠邦<sup>さかいただくに</sup>まで 37 代の城主が在城しました。現在の姫路城を築城した池田輝政からは 6 家 31 代の城主が江戸時代約 270 年にわたって、姫路城に在城しました。

(7) 築城してから、大天守は何回くらい修理しましたか

江戸時代、歴代の姫路城主は、城を維持するために頻繁<sup>ひんぱん</sup>に修理を行いました。その名残が歴代城主の家紋が入った軒丸瓦<sup>のきまるかわら</sup>でわかります。築城後 17 年目の 1626 年に大天守初重<sup>ほう</sup>の方杖補強修理を、次いで 47 年後の 1656 年には大天守大柱の根元補修補強をはじめとして、柱・梁などが 21 回、屋根修理が 9 回、合計 30 回修理した事になります。

明治時代以降、大きな修理は明治の修理、昭和の大修理、平成の修理の 3 回です。

(8) 姫路城はなぜ売ることにしたのですか

明治になり、廃藩置県で城主がいなくなり、権威を示す必要がなくなりました。しかし、お城を維持するには大金が必要です。また、戦いの武器が鉄砲から大砲に変わり、お城は、特に天守は守りの面ではまったく役に立たなくなりました。一方で、誕生したばかりの明治政府にはお金がほとんどありませんでした。だから役に立たないものにワザワザ維持費は出せないということで、誰かに買ってもらおうということになり、競売にかけられました。

(9) 姫路城はいくらで売れたのですか

姫路城天守は 1873 年姫路市米田町に住む神戸清一郎<sup>かんべせいいちろう</sup>さんが 23 円 50 銭で落札しましたが、巨大な天守を取除くことは容易でなく、その使用木材を再使用する価値も低く、神戸清一郎さんはそのまま権利を放棄<sup>ほうき</sup>してしまったと伝えられていました。本当は 1873 年に姫路城が「存城<sup>ぞんじょう</sup>」となり保存されることになったため、落札が決定した直後に陸軍省の通達によって入札は無効、取消となり、結局競売による払下げは実現しなかったようです。

(10) なぜ、姫路城は残っているのですか

払下げはされずに、お城は残りましたが、維持修理費用が出せなかったので、姫路城はどんどん荒れ果てていきました。

姫路城、名古屋城という名城が荒れて倒壊するのを心配した陸軍の第四局（今の建設局）にいた中村大佐が 1878 年に政府に保存申請を出し、翌年になって認められ、修理費が出る事になり、今に残っているのです。

(11) 姫路城は火災にあったことはありますか

明治時代の 1882 年 2 月 1 日に二の丸の「をの門」「りの櫓」が焼失し、同年 12 月 27 日には備前丸が焼失しました。さらに太平洋戦争では、1945 年 7 月 3 日の姫路 2 回目の空襲で三の丸にあった鷺城<sup>さぎじょう</sup>中学校が焼夷弾<sup>しょういだん</sup>のため焼失しました。

(12) 姫路城は太平洋戦争で何回空襲を受けましたか

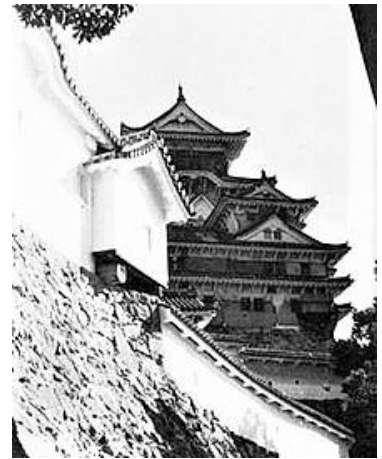
1 回目は 1945 年（昭和 20 年）6 月 22 日に市街東部の川西航空機製作所を中心とした空襲を受けました。そして 2 回目は 7 月 3 日午後 11 時頃から市街中心部を襲う空襲を受け、野里と船場地区の一部を残し焼野原となりました。しかし姫路城は三の丸にあった鷺城中学校が

焼失した以外、奇跡的に焼失を<sup>まぬが</sup>免れました。

(13) 姫路城では空襲に対してどのような準備をしましたか

姫路城では天守・櫓・土塀などの外壁に黒く染めたワラ縄で編んだ網を掛ける<sup>ぎそう</sup>擬装(カモフラージュ)を行いました。さらに城内に<sup>ぼうくうごう</sup>防空壕・貯水池を設け、大天守最上階には機関銃を設置していました。

黒くカモフラージュされた  
姫路城天守群



## 4. <sup>なわば</sup>縄張り

(1) 「縄張り」とは何のことですか

縄張りとは、城の配置を決定(設計)することです。本丸や二の丸などの<sup>くるわ</sup>曲輪の配置を決め、堀の形や配置、石垣の高さを定め、櫓や門の位置や形式を考え、さらには城下町の町割りも含めた城づくりのすべてを決定することです。

(2) 姫路城の縄張りにはどのような特徴がありますか

姫路城は姫山と鷺山、さらにその周辺の平地を利用した平山城です。城を取り囲む堀は姫山の北を起点とし姫山と鷺山を廻り、渦巻き状(螺旋状)に左へ三重に旋回して、鍛冶町で終点(堀留め)となっています。一般的な城の堀配置は同心円状で、姫路城のようなうずまき状の堀配置は他に江戸城に見られるだけです。

また、西国街道が外曲輪の中を通り、町人が住む城下町を<sup>そうがまえ</sup>外堀が囲む「総構」も姫路城の特徴です。

(3) 姫路城の縄張りは誰が考えたのですか

池田輝政が築城した現在の姫路城の縄張りは、家老の<sup>いきただしげ</sup>伊木忠繁が行ったと伝わっています。

(4) 「<sup>くるわ</sup>曲輪」とはどういう意味ですか

お城の中で土塀とか堀で囲った区画のことです。一つの区画は円形に造ると面積が広いわりに外周が短いので防御に有利であるといわれ、この名が付いたようです。「<sup>くるわ</sup>郭」とも言い、また円形に近い形状から「丸」とも言われ、出入り用の門が付きます。

(5) 姫路城の内曲輪が細かく分かれているのはなぜですか

曲輪を小さく区画し、通路も狭く少人数しか通れないように縄張りしたのでしょう。

二の丸、本丸は小山である姫山に階段状に配置されています。狭い姫山の地形に合わせて縄張りをしたので細かく分かれたのでしょう。



(6) 「大手」と「搦め手」はなぜ必要ですか

城外から本丸へ至る道筋は、少なくとも二つのルートを設け、どの道筋も途中で複雑に折り曲げ、いくつもの門を置いて仕切っており、敵兵が簡単に侵入できないようにしています。その道筋で最も大切な表口を「大手」（または「追手」といい、次に重要な裏口を「搦め手」といいます。大手の一番外側の入口にある門が「大手門」です。戦の時は大手門に攻め入る敵を搦め手から廻り込んだ城兵で挟み撃ちにししたり、あるいは形勢不利な場合は搦め手から脱出することもあります。姫路城の搦め手は「との一門」から「喜斎門」に至るルートです。

## 5. 普請（土木工事）

石垣や堀を築く土木工事のことを「普請」といい、築城で最も重要なこととされていました。

### 5-1. 堀

(1) 堀はなぜ必要ですか

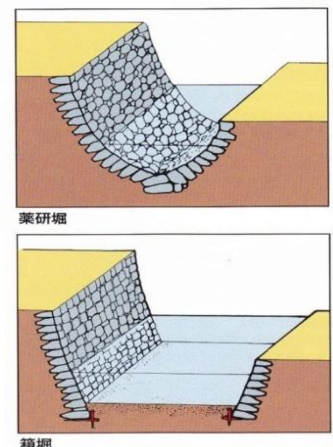
敵の城内への侵入を防ぐ目的でお城の周囲に広く深い堀を掘り、敵が渡れないようにしています。掘った土で城内側に高い城壁を築き、高い位置から敵を攻撃することができます。石で築いた城壁が石垣で、土で築けば土塁になります。

(2) なぜ空堀と水堀があるのですか

中世の城はそのほとんどが山城であり、山の上では水を溜めることは出来ないため堀は空堀でした。水堀は近世の平城や平山城になってから用いられました。平地では堀を掘れば自然と水が湧き出すでしょうし、必要があれば海や川から水を引くこともできました。

(3) 水堀にはどんな種類がありますか

水堀の形状による分類は、堀の断面がV字形で堀の中央部が深くなる「薬研堀」と、底が平らな「箱堀」が代表的な種類です。鉄砲が普及する以前は弓矢を避けることのできる堀幅があればよかったので、堀幅が狭い薬研堀が主として用いられていました。射程距離の長い鉄砲が普及すると堀の幅も広くなり、広くて堀底の平らな堀が造られました。このような堀を箱堀といいます。姫路城では外堀、中堀、内堀共に箱堀で、薬研堀の存在は確認されていません。



(4) 姫路城の堀の大きさはどれくらいですか

姫路城の堀幅は、内堀の桜門西方で47mと最も広がっています。喜斎門付近で12m、中堀の久長門付近で20m、外堀の外京口門付近で10mなど場所により一定していませんが平均20m前後です。深さも場所によって多少相違があり、平均2.7m前後でしたが、現在はかなり浅くなっています。

堀の長さは内堀で3.0km、中堀が4.3km、外堀が5.2kmで合わせて12.5kmもありました。

(5) 姫路城の堀の水はどこからきていますか

姫路城の堀の水は、湧き水と船場川の水を主に利用していました。現在も船場川の水を利用してありますが、堀が途切れているところがあるので、ポンプで循環させています。

(6) 姫路城の堀はなぜ内中外と行くにつれて狭くなるのですか

堀は外側になるほど長くなります。外堀を内堀と同じ巾にするには大勢の作業者と時間とお金が必要です。一方で、外堀は長いのでその全長に城兵を配置することはできません。だから、外堀は見せかけでそれほど防御効果はないので、狭くてもかまわないと思われたようです。中堀も同じ理由で内堀ほど広くありません。

(7) 姫路城の三国堀はなぜ必要ですか

三国堀は現在水堀ですが、築城当時は空堀であったようです。三国堀は敵兵が「菱の門」から城内に侵入した際に、敵兵が「菱の門」内で広く分散しないように城内を狭くしたものです。「菱の門」内に侵入した敵兵は「いの門」に向かって突進しますが、城兵は「いの門」と「るの門」の両方から敵兵を挟み撃ちにし、さら西の丸土塀からの一斉射撃で敵兵を三国堀に追い落とす仕掛けです。

## 5-2. 石垣・土塁

(1) 石垣の積み方にはどのような種類がありますか

積み方の種類は石の加工度合で分類するのが一般的です。大きくみれば下記の①、②、③の順に発達しました。

- ①「野面積み」は自然石をほとんど加工せずに積上げたもので、積石どうしの間がかなり空いています。姫路城では羽柴秀吉時代の石垣に多く見られます。
- ②「打込接ぎ」は積石の接合部を加工し、石どうしの接触部を増やして、隙間を少なくした積み方です。この積み方も姫路城で多く見られます。
- ③「切込接ぎ」は石を徹底的に加工して、石どうしの隙間をまったくなくした積み方です。姫路城ではわずかしき見られません。



野面積み(上山里丸南石垣)



打込接ぎ(大天守)



切込接ぎ(武蔵野御殿跡)

(2) 石垣はどのように積んだのでしょうか

基本的には土または丸太などで坂を造り、石をソリに乗せ、人力でロープなどを使い引っ張りあげたようです。

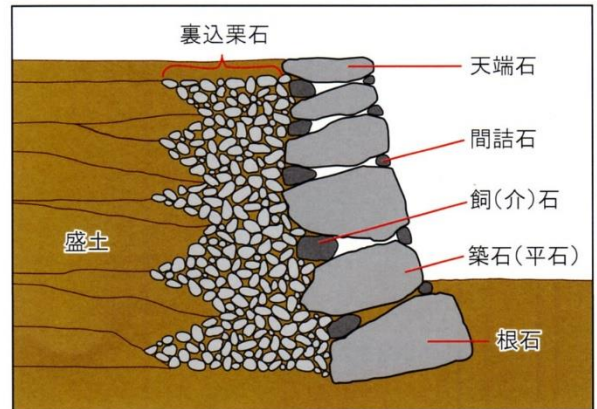
小さめの石の場合は二又にまたという簡単なクレーンのようなものを作り、滑車を利用して吊り上げ

たようです。

(3) 石垣はなぜ傾斜しているのですか

石垣を垂直に積上げると石垣の裏からの圧力（雨水など）に弱く、石垣が崩れやすいので高く積みませんが、傾斜させると裏からの圧力に耐えることができます。だから石垣を高く積む時は傾斜させています。

高い石垣は石垣の下部の傾斜を緩やかにし高くなるほど勾配を急角度にする積み方（「扇の勾配」という）にして、石垣を堅固にし、優美に見せています。



石垣の断面

(4) 石垣の内側はどのようなになっていますか

表面の石は表面の大きさよりも、奥行を長くして積上げます。その背後には栗石という人頭大の小石をぎっしりと詰め込んでいます。この石によって石垣を裏から支え、石垣中の排水をやすくして石垣の崩壊を防いでいます。

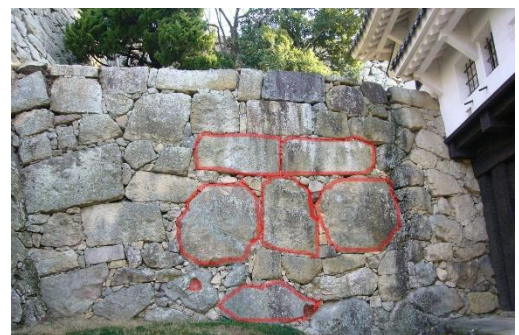
(5) 姫路城の石垣の石の種類と産地を教えてください

築城には大量の石が必要ですので、姫路城の石材は近くの山から切出されました。姫路城では凝灰岩が最も多く、広嶺山、増位山、砥堀山、鬘櫛山<sup>びんくしやま</sup>などから切出し、主に大天守、備前丸、西の丸などの池田・本多時代の石垣に使用されています。チャート石は八丈岩山、手柄山、姫山から切り出され、二の丸、天守丸北側、上山里丸、など羽柴時代の石垣に数多く使用されています。さらに、砂岩は景福寺山と男山から、花崗岩<sup>かこうがん</sup>は西の青山、蒲田から運ばれてきました。

その他に、山から切出された石だけでなく、石棺や石塔・石臼・墓石などの石造物（転用石と言う）もあり、多くは羽柴時代の石垣に使われています。

(6) 「笑い積み」とはどんな積み方ですか

たとえば石垣のなかにまわりの石材に比べて一段と大きな石材を積み、まわりを小石で囲むようにして積んだ積み方を「笑い積み」といいます。石垣を目立たせることを目的としたようです。姫路城では「ぬの門」前面などに見られます。



ぬの門前面の石垣

(7) 姫路城ではどれくらいの石が使われていますか

姫路城にどれくらいの石が使われているのか、その記録がなく明らかではありません。推定では内曲輪（内堀の内側）だけで石垣の総面積が約 28,132 m<sup>2</sup>といわれており、石垣の奥行を平均 1.4m とすると、石垣の重量は約 103,000 トンと算出されます。



(8) 姫路城で一番高い石垣はどこですか

姫路城で一番高い石垣は「帯の櫓」の東側石垣で、垂直高さは約 23.3m です。

(9) 姫路城の石垣で大きな石はどれくらいの大きさですか

一番大きいと思われる石は「菱の門」の東方石垣にあります。隅石<sup>すみいし</sup>として使われている石は高さが約 2.5m、幅 2.0m、奥行約 1.5m の大きさで重さは約 15 トンでしょうか。またその西方に奥行はわかりませんが、横幅約 3.0m、高さ約 1.8m の大石もあります。

(10) 転用石とは何ですか

お城の石垣にはたくさんの石が必要です。その石を遠くの山から持ってくるのは大変なので、お城の近くにある墓石、お地蔵さん、古墳から取り出した石棺などを石垣の材料としています。このように元々他の目的で作られていた石造物を石垣用の石材として利用したものを転用石といいます。姥が石も転用石のひとつです。現在確認されている転用石は 96 個です。石垣の積みなおし、発掘は今後も続けられるので転用石の数は年毎に増加すると思われま

(11) 姫路城の「転用石」にはどんなものがありますか

姫路城には主に羽柴秀吉時代の石垣から古墳の石棺や石塔・墓石・石臼など本来積石でない石造物が確認できます。代表的な転用石として石灯笼<sup>いしとうろう</sup>の基礎石が「はの門」の柱の礎石に、宝篋印塔<sup>ほうきょういんとう</sup>（墓石）の基礎石が「水三門」の西方石垣に、それに石棺が備前門石垣などにあります。

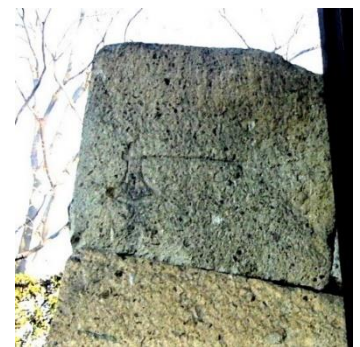
また「リの一渡櫓」には取出された石棺が展示されています。



石棺

(12) 姫路城の石垣刻印<sup>せきけん</sup>の意味は何ですか

姫路城の石垣には文様や文字などが刻まれている石が見られます。これを「刻印」といいます。この刻印は、①石材提供者、②石切り場、③工事担当者、④石材運搬者、⑤呪文などの印ではないかと考えられます。珍しいものでは、①「奈良村」と彫られた刻印がありますが、築城当時に同名の村は記録にありませんので不思議です。これは西の丸「カの一渡櫓」石垣にあります。②「斧<sup>おの</sup>」の刻印は大手門左の石垣に見られます。③「五芒星<sup>ごぼうせい</sup>」は星形のきれ



大手門の斧の刻印

いな刻印で化粧櫓の東下にあります。姫路城において、現在確認されている刻印は約 50 種類、94 個です。石垣の積みなおし、発掘は今後も続けられるので刻印の数は年毎に増加すると思われま

(13) 石垣の間にある丸太は何ですか

姫路城の「水一門」付近の石垣の中に、丸太が差し込まれているのが見えます。この丸太は築城当時に石垣をつくる時の足場に使われたものと想定されます。足場に使用した後、石

垣から突き出た部分を切り落としたのでしょう。

(14) 姫路城「菱の門」南側の石垣はなぜ必要ですか

「菱の門」南石垣は敵兵が三の丸に侵入した時に、「菱の門」が見通せないように築かれたもので「かざしの土塀」とも呼ばれます。またこの石垣によって不完全ですが、「菱の門」前が四角形の枡型を形成しており、東方の「チの櫓」「リの渡櫓」から「菱の門」に迫る敵兵を攻撃する工夫も見られます。

(15) 敵兵は石垣を登れますか

姫路城の石垣は隙間があるので敵兵に登られる危険性があります。そのため石垣の隙間に「間詰石」という小さな石を詰め込んで隙間をなくしています。また敵兵が石垣を登る時、間詰石を握ると、その間詰石が抜けて敵兵も転落するように工夫されていたようです。

(16) 石垣の色が途中から違うのはなぜですか

石垣の石はほとんどが凝灰岩でベージュ色をしています。石垣の下部が黒くなっているのはその部分が建築物の屋根の外側にあり、雨露がかかり、黒かびが生えているからです。



大天守南面の石垣

(17) 姫路城の土塁の大きさはどの位ですか

姫路城では土塁は内・中・外曲輪とも堀の内側に廻らし、内曲輪はその外側に石垣を積み、中・外曲輪は門の付近のみ石垣を積んでいます。この土塁は堀を掘った土砂を盛り上げて築いたもので土砂の積み方は「叩土居」といわれ、土砂を固く突き固めて築いています。姫路城の土塁は高さが約 3.6m、幅は土居敷（土塁の一番下の部分）で約 11m です。傾斜は平均 45 度程度です。



中門西の土塁

(18) 姫路城の土塁の長さはどの程度ですか

姫路城の土塁の総延長はほぼ 11.5km です。土塁の上には土塀や垣を設けて、視界を妨げたり、敵兵の侵入を防いだりしていました。

### 5-3. 井戸

#### (1) 姫路城の井戸はいくつありましたか

姫路城には勢隠曲輪を除いて、内曲輪に 33 か所の井戸があったことが江戸時代の絵図で確認できます。しかし現在は 11 か所しか残っていません。

#### (2) 姫路城の井戸の深さはどのくらいですか

最も深い井戸は備前丸の井戸で、深さ 27.6m、水深 13.6m です。



井郭櫓の井戸

## 6. 作事（建築工事）

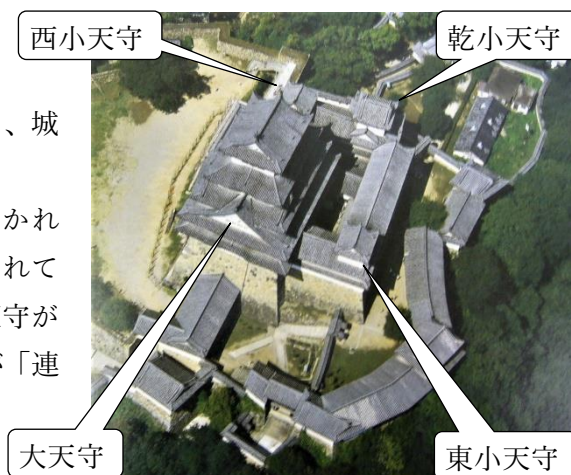
### 6-1. 天守

#### (1) 天守の役割は何ですか

天守は元々は戦の時の物見櫓として造られたもので、戦に備えた装備がされていますが、姫路城築城の時代では「城主の権力を誇示する」ことが主な目的となっていました。

#### (2) 姫路城の天守はどのような形式ですか

姫路城天守群の形式を「連立式」と呼んでおり、城郭建築の最高の形式といわれています。天守は天守台と呼ばれる長方形の石垣の上に築かれています。この天守台の四隅に四つの天守が築かれており、東南隅に大天守が、他の隅には三つの小天守が築かれ、それぞれを渡櫓で連結しており、これが「連立式」と言われる形式です。



#### (3) 姫路城の天守の特徴は何ですか

姫路城天守の主な特徴は次のようなものです。

- ① 大天守と 3 つの小天守で構成され、防御力と美観に優れた連立式天守である。
- ② 大天守が大きく、日本有数の木造高層建築である。
- ③ 白く美しい白漆喰総塗籠め造りである。
- ④ 大天守各層の大きさが理想的でバランスがよい。
- ⑤ 各重の屋根に唐破風、千鳥破風の飾屋根が美しく配置されている。
- ⑥ 2 本の通し柱方式で建てられている。
- ⑦ 大天守の壁が厚く、耐火性と防御性に優れている。

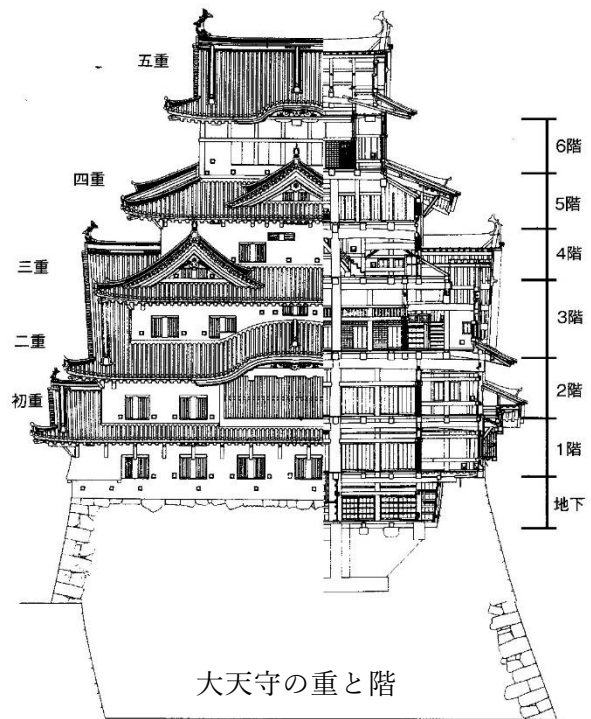


(4) 姫路城の壁はなぜ白いのですか

姫路城の建築物の壁を「白漆喰総塗籠め造り」としたのは、防火・耐火のために鉄砲の発達に対応したものでしょう。さらに白く輝く天守によって城主の権力を誇示する目的もありました。

(5) 姫路城の大天守は何階建てですか

姫路城大天守は五重七階建てです。城郭建築では外観の屋根の数が「重（層）」で、内部の床の数が「階」です。姫路城大天守は地下一階（穴倉）と地上六階となっており、外観の五重とは一致していません。



(6) 姫路城の大天守の高さはいくらですか

大天守の高さは天守台(石垣)の上から大棟上端までの高さ、すなわち建物の高さは約 31.5m です。天守台 14.8m を含めると備前丸の地表からの高さは約 46.3m です。また備前丸の地表は標高約 45.6m なので、大天守の高さは標高約 92.0m となります。

(7) 姫路城の大天守は日本で何番目の高さですか

現存する江戸時代の 12 の天守と比較すると、姫路城大天守(石垣を含む総高さ約 46.3m)は圧倒的に高く、姫路城に次いで高い天守は松本城の 29.4m です。

今はありませんが江戸時代には、江戸城の 58.6m、大阪城の 58.3m、名古屋城の 48.6m など、いずれも徳川家の巨大な天守が建てられていました。

(8) 姫路城の大天守の重量はどれくらいですか

姫路城大天守の重さは、約 5,700 トンと推定されています。その内訳は屋根(瓦・目地漆喰・葺土)が 1,820 トン、壁が 2,000 トン、木材が 1,800 トン、金属が 80 トンです。

(9) 天守の地階(穴倉)はなぜ必要ですか

天守は天守台上に建つので、本丸から天守に入るためには、天守台の内部に地階を設けて地階から天守一階に入るのが一般的です。地階を造らずに天守台の外に付櫓を設けてそこから天守に入るお城もあります。

(10) 姫路城の大天守の正面はどちらですか

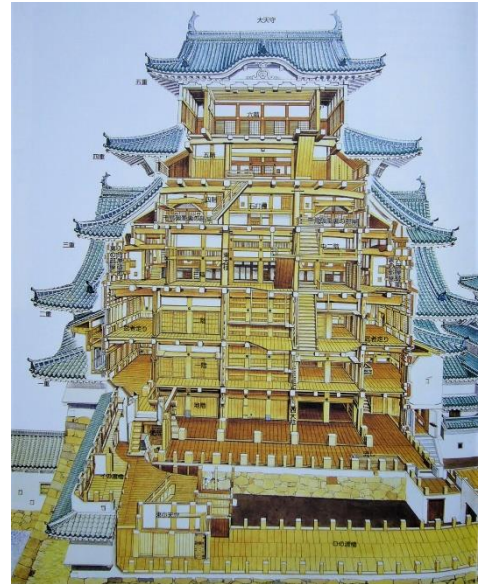
姫路城大天守は東西南北の各面が全て豪華で美しいので、どちらが正面かわかりにくいです。桜門が大手門で「い・ろ・は・・・門」が南から順次命名され、北へ向かって進むようになっているので、大天守は南向きといえるでしょう。

(11) 姫路城の大天守には柱が何本ありますか

柱の本数は420本です。梁は267本です。柱や梁の大型部材はモミ・ツガ・ケヤキ・カシなどが多く使われています。

(12) 姫路城の大天守の構造の特徴は何ですか

姫路城大天守は地階から二階までと、三階、四階、そして五階から六階までの四つのブロックを積重ねた構造です。しかしこのままでは地震の時の横揺れに弱い崩壊の危険性があるため、地階から五階天井まで貫く高さ約24.6mの東西2本の太柱を通して、頑丈な構造にしています。



大天守 内部

(13) 姫路城の大天守にはどんな防御方法がありますか

大天守にもいろんな防御策が仕掛けられています。他の櫓と同様の「石落とし」、「格子窓」、「階段を閉じる蓋」があります。天守独特のものでは隠れ部屋（「内室」や「武者隠し」という）があり、隠れ部屋から天守室内に向けた「狭間」、敵の頭上から攻撃する「石打棚」、迷路のように配置された「階段」などが設けられています。

(14) 戦の場合、姫路城の天守に籠る人数は何人ですか

天守の中に設けられた銃架の数や狭間の数から、戦の時に天守内に籠る人数は600人程度と想定されています。

(15) 姫路城の大天守地階の便所はどこにありますか

姫路城大天守地階には「便所」（厠）が設けられており、地階の東北隅と一階へ通じる階段の下に2カ所にそれぞれ3個の便所が造られていますが、築城以来使用された痕跡はありません。また西小天守の地階にも便所があります。

(16) 姫路城以外に天守内に便所・台所があるお城はありますか

天守内に便所を設けていた城郭は姫路城以外に熊本城と松江城で確認されています。ただし松江城の場合、携帯可能な箱式便器であったようです。台所のある天守は姫路城のみですが、松江城・名古屋城・浜松城には天守地階に井戸がありました。

(17) 姫路城の大天守に部屋と窓はいくつありますか

大天守内にある部屋は、内室などの隠れ部屋を除いて19室です。大天守にある窓は156個です。

(18) 姫路城の大天守には畳や障子・ふすまがありましたか

昭和大修理時に姫路城大天守内から畳の断片<sup>たんべん</sup>が発見されたそうです。築城当時には畳が敷かれていたと思われますが築城後いつしか撤去されたのでしょう。障子は窓に明かり取りとして設けられていました。また部屋の仕切りには板戸2枚と障子1枚の3枚の戸が嵌め込まれています。

(19) 姫路城の天守内で生活していましたか

姫路城天守には誰も住んでいませんでした。織田信長は安土城の天守に住んでいたようですが、それ以降の天守では城主が天守に上がることはほとんどなく、多くても一年に一度程度であったようです。姫路城でも城主が参勤交代で姫路に戻った時に天守に上がったという記録があります。

(20) 姫路城の天守の階段はなぜ急角度ですか

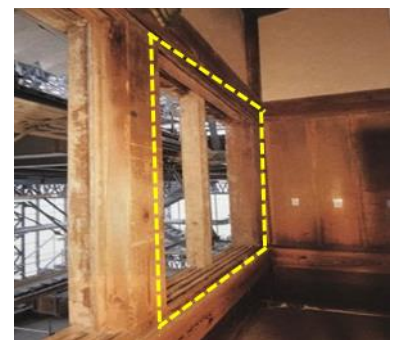
城郭建築の階段は狭くて急角度なものが多いです。これは防御を考慮したものといわれています。また城郭建築は巨大なものが多いため建物内の梁の間隔が狭く、その梁の間に階段を設置すると、どうしても急角度の階段になってしまうようです。

(21) 天守、櫓の窓の下から出ている筒は何ですか

これ等の筒は、風雨が強い時に窓の雨戸を閉めますが、雨戸に当たった雨水が窓の敷居にたまり、敷居が腐るのを防ぐための水抜き用パイプです。また、遠くから見ると鉄砲の筒先が出ているように見えるので敵を寄付けない工夫の一つでしょう。

(22) 幻の窓とは何ですか

平成の修理の時に、大天守最上階の四隅に「幻の窓」が発見されました。360度を見渡せられるように開けられたのですが屋根が重く、柱だけでは強度が不足すると思われて塞がれたのでしょう。



幻の窓

## 6-2. 櫓

### (1) 櫓の意味とその種類を教えてください

櫓は「矢蔵」や「矢倉」とも書かれていました。  
これは武器庫から生まれたとする説と、弓矢を射る場所や陣地を表すものとする説があるからです。  
事実、平時は武器庫であり、戦の時は攻撃の陣地になりました。

櫓の場所・形状によって、隅櫓・多門櫓・渡櫓などがあり、それらが連なったものが姫路城の西の丸の「百間廊下」です。



カの隅櫓

①「隅櫓」は曲輪の隅や石垣が折れ曲がる場所など、防御上で重要な場所に建てられました。

②「多門櫓」(多聞櫓とも書く)は石垣の上に長く続く櫓をいい、足軽などの住いにもなりました。女性などの住いとなったものは「長局」といわれました。多門櫓による防御は完璧で絶対に突破できない設備といわれています。

③「渡櫓」は櫓と櫓の間を連結する櫓をいいます。姫路城の四つの天守を連結する櫓も渡櫓です。

櫓の重数によって、平櫓・二重櫓・三重櫓などという分類もあります。姫路城では江戸時代に101棟の櫓が存在しましたが、現在は国宝である天守群(天守も櫓の一つです)8棟を除けば重要文化財指定の27棟しか残っていません。

参考：天守は櫓の一種ですが、そのお城の象徴的な櫓であるため天守といえます。

### (2) 西の丸「百間廊下」にはいくつの部屋がありますか

百間廊下には、27部屋があります。さらに化粧櫓には3部屋が、他にも倉庫部屋とか隅櫓の二階にも部屋があります。百間廊下の長さ(レ渡櫓～カ渡櫓)は、仮設廊下部分も含めると約240m(約121間)です。

### (3) 姫路城にはどんな蔵がありましたか

姫路城内には多くの蔵が建てられていました。その主なものとしては「米蔵」、「焰硝蔵」、「鉄砲蔵」、「旗蔵」等です。米蔵は数が多く、城内に分散して置かれ「上三方蔵」、「下三方蔵」、「内船場蔵」、「御用米蔵」がありました。

## 6-3. 城門

### (1) 姫路城にはどのような種類の城門がありますか

城門は様式によって、次のようになります。



櫓門(菱の門)



① 櫓門；城門の上に櫓を載せたもので最も堅固な門です。姫路城では、菱の門・はの門・にの門・水五門・水六門・備前門・ぬの門・との一門が櫓門です。

② 棟門；2本の門柱に屋根を乗せただけの簡単な門で、転倒しやすいので軽微な門として用いられました。姫路城ではちの門・水一門・水二門が棟門です。

③ 高麗門；棟門の後に控柱を立て、控柱上に屋根を取付け、扉を開けた時に扉がその屋根の下に入る構造の門で、屋根の面積が最小限であるので、敵兵が門内に隠れにくいという特徴があります。姫路城ではいの門・ろの門・への門・との二門・との四門・りの門があります。

④ 埋門；石垣の間に棟門を埋込み、屋根の代わりに土塀を設けた門です。姫路城ではほの門・水三門・水四門です。

⑤ 穴門；埋門の一種で石垣の中に開けられた珍しい門で、姫路城では「るの門」です。



高麗門（への門）



穴門（るの門）

(2) 姫路城にはどれくらいの城門がありますか

姫路城には内曲輪・中曲輪・外曲輪に多くの門を構え、全部で84門を設けていましたが、現在では、21門しか残っていません。

(3) 姫路城のい、ろ、は・・・の門の由来を教えてください

姫路城の城門の名称にい、ろ、は・・・が多く付けられている理由はわかりません。江戸時代の城絵図にもい、ろ、はの門が記入されているので、築城当時からそのように呼ばれていたのでしょう。



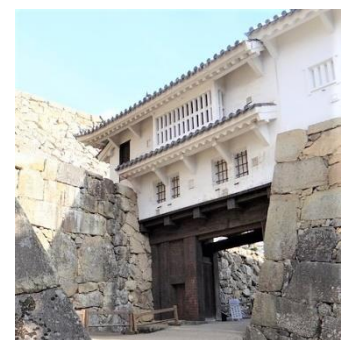
菱の門

(4) 姫路城で特徴のある城門はどの門ですか

姫路城で現存する城門では、一番大きい門は「菱の門」です。一番小さい門は「るの門」で、この門は穴門形式でたいへん珍しい城門です。また「ぬの門」は城門の上に二階建ての櫓を載せたもので他の城郭では見られない貴重な城門です。

「にの門」は前面の扉、柱、壁板に鉄板を張り付けた黒鉄門で通路が折れ曲り天井も低く敵兵が容易に突破できない門です。

「との一門」にも特徴がありますが次ページで説明します。



ぬの門

(5) 姫路城の「菱の門」の名前の由来は何ですか

「菱の門」には冠木（門柱の上の横木）の飾りに木彫りの菱の紋を付けてあるので、その名が用いられたといわれています。菱の紋が付けられた理由はわかりませんが、三国堀に菱が自生していたからと唱える人もいます。



にの門

(6) 姫路城の「との一門」が素木造りであるのはなぜですか

「との一門」は搦め手口に設けられた櫓門です。姫路城に現存する櫓門の中でも唯一の素木造りの城門です。突き上げ板戸の窓、半透かし扉など古風な造りで、少なくとも関ヶ原の戦以前に建てられた城門のようです。

秀吉が置塩城の大手門を移築したとの説もあります。



との一門

(7) 姫路城「との三門」はどうしたのですか

「との三門」は「との二門」と「との四門」の間にあった棟門形式の門でしたが、廃藩置県後荒廃して崩壊したか、あるいは撤去され、現在は存在していません。

#### 6-4. 瓦

(1) 姫路城の瓦の枚数は何枚ですか

平成の修理が行われている大天守の瓦の枚数は、約 75,000 枚です。

姫路城のすべての瓦の枚数はわかりませんが、大天守の枚数から想定すると約 35 万枚です。

(2) 姫路城の大天守には何種類の瓦がありますか

大天守の瓦の種類は、平瓦や丸瓦や鬼瓦・鯨瓦等 56 種類もの瓦が使われています。

(3) 瓦の模様の意味は何ですか

姫路城の屋根瓦は平瓦と丸瓦の組合せで本瓦葺という方法で葺いてあります。それぞれの軒の先端の瓦（軒丸瓦）には模様が入っています。

模様のほとんどは歴代の城主の家紋で、これから誰が建てたか誰が修理したかが分かります。



軒丸瓦紋

(4) 鬼瓦の意味と姫路城の珍しい鬼瓦を教えてください

鬼瓦には魔除けの意味があり、鬼瓦の文様は本来は角を生やした鬼面とすべきですが、姫路城では城主の家紋とか植物紋になっています。

「にの門」西面に「十字紋」の鬼瓦があります。黒田官兵衛に関係があるものと言われていますが確証はありません。

「への渡櫓」「カの櫓」にある「桃果紋」鬼瓦は、中国から伝わった鬼門よけとして、それぞれ表鬼門、裏鬼門の方角に置かれています。「への門」には「打出の小槌紋」が、「井郭櫓」には「銀杏紋」が、その他にも「菊紋」「波紋」「タラヨウ紋」「軍配紋」「蕪紋」などの鬼瓦も見られます。

(5) 鯨瓦の目的は何ですか

鯨と書き、胴体が魚で頭が虎又は龍という想像上の動物で、鎌倉時代に中国から伝来しました。

火を見ると口から水を吐くと伝えられ、火事よけのまじないです。建物の一番高い屋根の上に置くのは火が発生すると水を吐き、火を消すためです。又、天守を美しく見せるのに効果があります。



大天守の鯨瓦(平成)

(6) 姫路城の鯨瓦にはどのような特徴がありますか

一般的に天守の最上階の屋根(大横)に雌雄一对の鯨瓦を取付けることが多いのですが、現在の姫路城の鯨瓦は全て雌に統一されています。

また、数が多く、大天守だけで合計 11 個の鯨瓦が、さらに小天守や主要な櫓にも鯨瓦が取付けられ、全部で 68 個の鯨瓦あります。大天守最上階の鯨瓦は高さが約 1.9m、重さが約 300kg です。

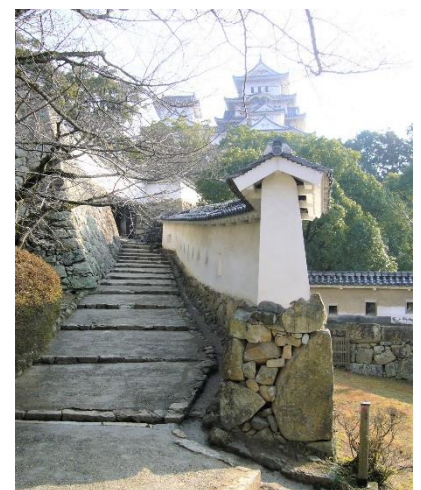
(7) 櫓とか建物の軒の下に瓦が並べてありますが何ですか

雨垂れ受あまだれうけといわれており、江戸時代の建物には雨樋あめどいがなく、そのため、雨が降ると同じ所に雨しずくが落ち、地面がえぐれ、建物が傾く恐れがあるので、雨しずくをはじくために瓦を埋めています。排水路でもあります。

## 6-5. 土 塀

(1) 姫路城の土塀にはどのような特徴がありますか

一般的な土塀の構造は木造の骨組みを持つ形式ですが、姫路城の土塀は独特の構造です。ブロック煉瓦れんがのような形状の粘土かたまりの塊を積上げて造られており木造の骨組みはありません。屋根部分のみは木造で組み立てられており、壁面は白漆喰で塗られています。姫路城の塀は最下部で約 70 cm と分厚く、自立しています。他の城では塀が 20 cm 前後と薄いので風圧、敵兵の引き倒しに耐えるように城内側に支柱又は控え柱を立て補強しています



はの門前土塀

(2) 姫路城にはどれくらいの土塀がありますか

姫路城の土塀は全て重要文化財に指定されており、現在 32 カ所もあります。江戸時代にお



いては、約 7,200m の長さがあったようですが、現存する土塀は 989m の長さです。最も長い土塀は「ろの門」西方の土塀で長さが 140m です。

(3) 姫路城の「油壁」は何でできていますか

油壁は「ほの門」と「水一門」の間にある高さ 2.8m、長さ 5.2m の大きさの土塀です。

油壁は山土に砂利を加えて、粥汁で練り合わせたものを仮枠内で叩き締める作業を繰り返し、最後に仮枠を外して完成させたものです。版築工法といわれ非常に頑丈に造られています。



油壁

(4) 漆喰壁とはどんな壁ですか

漆喰は「消石灰」とアカガイなどの貝殻を蒸し焼き後、粉状にした「貝灰」に、麻の繊維の「すさ」を強度材として加え、「海藻の煮汁」を糊材として加えてつくります。漆喰は壁の場合には土で造られた荒壁の表面に塗りますが、姫路城大天守の外壁漆喰は 6 回も塗り重ねて厚さ 30mm の厚塗りです。

姫路城では天守はもちろん櫓・土塀にいたるまで、すべての壁は白漆喰塗です。これは防火・耐火が本来の目的でしょうが、鉄砲の発達によって銃弾にも耐えるものとして用いられたのでしょう。その上、白漆喰塗は城郭建築物の外観をより美しく見せる効果があります。

6-6. 狭間・石落とし

(1) 「狭間」とは何ですか

「狭間」は弓や鉄砲で敵兵を攻撃するために土塀や櫓の壁面に開けた穴のことです。矢狭間と鉄砲狭間の二種類があります。狭間には長方形、円形や三角形などいろいろな形状がありますが、縦長の長方形のものが矢狭間で、他の形状のものは鉄砲狭間です。櫓にある狭間は平時には蓋を閉じて外から壁と同じように塗りつぶして見えないようにし、事ある時は蓋を開いて攻撃する「隠し狭間」でもあります。これは雨水が室内に入らない工夫でもあります。



(2) 姫路城にはどんな「狭間」がありますか

姫路城には 6 種類（横長方形・縦長方形・正方形・三角形・円形・菱形）があります。

(3) 「狭間」はなぜ内と外で大きさが違うのですか

狭間は通常外側を狭く、内側を広く造ります。これは外側が狭いので敵兵からの射撃による的中を防ぐ一方、内側は広がっているので、内側からの鉄砲や弓を向ける角度が自由となって有利になる仕掛けになっています。



(4) 姫路城には「狭間」がいくつあるのでしょうか

江戸時代の史料では、矢狭間 603 個、鉄砲狭間 2,525 個の合計 3,128 個の狭間があったと記録されています。 現在では矢狭間が 153 個、鉄砲狭間が 844 個の合計 997 個です。 また土堀に切られた狭間が 419 個、櫓の狭間が 578 個です。

(5) 「石落とし」の目的は何ですか

「石落とし」は天守、櫓、土堀の一部を壁から張り出し、その底部に開口部を設け、石垣の下に迫る敵兵を攻撃する為の狭間の一種です。 以前から「石落とし」は真下の敵に石、油、熱湯、などを投げ落すためと言われてきましたが、そうではなく、石垣近辺の真下を含む幅広い範囲の敵を鉄砲で撃つためのものようです。 他には、櫓門の入口扉の真上の 2 階の床面に設けることもあります。



大天守 石落とし

(6) 姫路城にある「石落とし」はいくつありますか

姫路城には現在 81 カ所の石落としが残されています。 石落としは敵兵が登りやすい石垣の角の上や天守や櫓の隅に設けていますが、長い土堀や櫓の中間、百間廊下の中間にも設けられています。

大天守一階東側や二階の南面、「口の渡櫓」一階の北側の 3 カ所に設けられた大きな出窓の底も巨大な石落としになっています。 また、「ぬの門」「備前門」「菱の門」「水五門」のように櫓門の櫓部床面に石落としを設けているものもあります。

6-7. その他

(1) 天守や櫓の飾り屋根（千鳥破風や唐破風）について教えてください

姫路城の外観を美しく飾るものとして飾り屋根があります。 三角形の飾り屋根が千鳥破風、曲線の飾り屋根が唐破風と呼ばれています。

大天守の東面と西面大きな三角形の飾り屋根は入母屋破風と呼ばれています。 姫路城では見事に破風が組み合わせられています。



(2) 「武具掛け」とは何ですか

姫路城の天守や渡櫓の壁面に木製の短い棒がたくさん突き出ています。この棒に火縄銃や槍を写真の様に掛けることができます。これを武具掛けと言います。その上部には鉄製のフックや竹釘が打たれています。竹釘に火縄や弾薬を掛けておけば、下に引っ張るだけで竹釘が折れ、直ぐに火縄銃の用意ができると言われていました。戦の時に直ぐに武具が使用できるように造られました。いつ戦が始まっても対応できる準備しているのに驚きますね。竹釘は姫路城以外では京都の二条城の隅櫓にもあります。(非公開)



(3) 「釘隠し」とは何ですか？

天守、櫓など屋内では、柱から柱へ水平に取り付けた長押し敷居に打った釘の頭を隠すために付けられた飾りです。姫路城では六葉釘隠し、饅頭釘隠しが多くみられ、殆どが黒色



敷居の釘の頭  
(釘隠し無し)



六葉釘隠し



饅頭釘隠し

です。大天守最上階だけに金色の六葉釘隠しが使用されていて他の階と比べて豪華になっています。屋外では門や扉にも多くの釘隠しを見ることができますが、屋内とほぼ同様の目的で、金具等の頭を隠し、装飾の為に金属製の釘隠しが付けられています。

(4) お城の窓はなぜ格子窓になっているのですか

大天守の最上階(6階)、乾小天守の最上階(4階)、ハの渡櫓の中庭側窓、井郭櫓、化粧櫓を除き、窓はほぼすべて格子窓になっています。格子には鉄格子や縦格子(武者窓)、横格子(与力窓)等がありますが、窓から敵が入れない様にする為です。念のために大天守1階の格子には筋金が入っていて厳重に防御しています。姫路城の大天守の格子窓には格子その物が開く窓があります。いつもは鍵が掛かっていて開くことができませんが、瓦や外壁(白漆喰壁)の修理を行う場合、屋外から足場を造らなくても窓から人が出て、直ぐに修理する為だと言われています。

## 7. 防御の工夫・仕掛け

(1) 侵入者を防ぐためにどのような工夫がしてありますか

先ず、敵が城内に入れないように堀があり、続いて石垣、門、塀などの構造物があります。その上、敵を撃退するためにつぎのような様々な仕掛けがあります。

①攻めてきた敵がお城を見て、攻めるのをあきらめさせる工夫・仕掛け

— お城の大きさ、天守の高さ、堀の中、石垣の高さ、石の大きさ、櫓の数 など

②城内(外曲輪、中曲輪)に侵入してきた敵を撃退するための仕掛け

- 螺旋の縄張、横矢掛け、迷路、寺院の集中配置、ノコギリ横丁 など
- ③内曲輪に侵入してきた敵を撃退する為の仕掛け
- 狭間、石落とし、多数の門、段々小さくなる門、鉄門、横矢掛け、狭い通路 など
- ④内曲輪に侵入してきた敵をまどわす心理的な仕掛け
- ふぞろいの石段、迷路、裏門への誘導路、水曲輪の下り坂 など
- ⑤天守内に攻め込んできた敵を撃退する仕掛け
- 次の階段の位置が分からない階段配置、階段を登るのを防ぐ階段のふた、内向きの狭間、隠し部屋 など
- ⑥敵を寄付けないためのマジナイ
- 天守の北東の方角（鬼＝魔物が侵入するので表鬼門という）にある「への渡櫓」と反対の南西の方角（裏鬼門という）にあたる入城口左手の「カの櫓」に神話時代から魔除けに効果があると信じられてきた桃の実を付けた桃果紋鬼瓦を置いている。
- 桃が魔物（鬼除け）に効果があるのは「桃太郎の鬼退治」の昔話で判ると思います。又、化粧櫓の東の石垣に陰陽師 阿部清明で有名な魔よけの五芒星の石の刻印があります。
- 鬼は北東、南西方角の角(すみ)から侵入するので両方角に当たる姫路城の堀、石垣、櫓などは角を無くする作り方をしています。
- 姫路城の北東、南西の方角線上にある多数の寺院、神社を守護寺、守護社に指定し、鬼の侵入を防いでいます。表鬼門では豊富校区の岩屋寺、谷外校区の佐良和神社、野里校区の誓光寺、天守にある刑部神社、裏鬼門では白鷺校区の西福寺、十二所神社などです。



への渡櫓の桃果紋鬼瓦



への渡櫓東北角の  
鬼門除け

## (2) 姫路城には「抜け道」がありますか

昔から「抜け道」があるとの言い伝えがありますが、現在までの調査では抜け道は発見されていません。ただ「るの門」は埋門の形式で土塀の下の石垣の中を潜るようになっており、これを通ると「菱の門」へ出ることができる近道になっています。さらに鷺山口門から内堀の水中に隠された堤を渡って、南勢隠門付近へ出られるようになっていました。これらは「間道」と考えられます。



## 8. 人物

### (1) 千姫 (1597~1666)

1597年徳川家康の孫として京都伏見城で生まれました。父は二代将軍秀忠で母はお江です。

7才で豊臣秀吉の子の秀頼(11才)と結婚しましたが、1615年大阪夏の陣で豊臣家が敗れ、秀頼も自刃したので、江戸へ帰りました。江戸へ帰る途中、伊勢の桑名で本多忠刻と出会い、翌年家康と秀忠の許しを得て結婚しました。

千姫は20才、忠刻は21才でした。桑名城に短い期間住まいした後、1617年忠刻の父で桑名城主の本多忠政が姫路に国替えされたので、千姫も姫路に移り住みました。

この時、父秀忠が千姫の化粧料として10万石の領地を夫忠刻に与えました。これ等を財源として、1618年本多忠政が西の丸を築造し、今の姫路城の形が完成しました。千姫夫妻は初めは西の丸の中書丸御殿に住み、その後、三の丸の武蔵野御殿に移りました。

1618年に長女勝姫が、1619年に長男幸千代が相次いで誕生しました。しかし、1621年幸千代がわずか3才で死亡し、その後は子供が生まれなかったので、これは秀頼のたたりではないかと思ひ、1623年に男山に千姫天満宮を建立しました。そして、毎日この千姫天満宮を西の丸の百間廊下の窓から拝んだそうです。その前後に休憩したのが化粧櫓です。

それにもかかわらず、1626年今度は夫忠刻が病死してしまいました。そのため、同年江戸に帰り、出家をし、天樹院と名乗り、竹橋御殿に住まいし、70才で死去しました。千姫の坐像が市の橋の西岸の南にあります。



男山の千姫天満宮

### (2) 羽柴秀吉 (1536~1598)

1577年織田信長の命令により、中国地方の毛利家を討伐するため、播磨に進出してきました。

1580年黒田官兵衛達の助けを得て、播磨を平定し、1581年に姫路を本拠地とするため、西日本で最初の3重の天守を持つお城を姫山に築き、又、龍野町、竹田町などを配置し、姫路の町の基を造りました。

1582年本能寺の変で織田信長が明智光秀に討たれると、毛利軍と戦っていた岡山の備中高松城から中国大返しと呼ばれる17,000人という大部隊の雨中の引き返し作戦を強行しました。

姫路城でわずか2日休息した後、京都に向かい、山崎の合戦で明智光秀を討ちました。

その後四国、九州を平定し、1590年関東の北条氏を滅ぼし、日本統一を果しました。

長浜城、姫路城、大阪城、聚楽第、名護屋城、伏見城、淀城など多くの城を各地の大名に手



秀吉の天守の想像画



伝わせて造り、築城の方法を全国に広めました。

姫路城内には秀吉が築いた石垣がアチコチに残っており、乾小天守では秀吉の三重の天守に使われていた木材が確認されています。

### (3) 黒田官兵衛 (1546～1604)

1567年21才で黒田家(当時は小寺と言っていた)の当主となり、御着の小寺家の家老として姫路城を守っていたが先見性があり、早くから織田信長と連絡を取り、織田軍の中国方面司令官の羽柴秀吉の軍師として活躍しました。秀吉が姫路城を築城したときは奉行を勤め、自身は妻鹿の国府山城に移りました。



1580年には播磨平定の功績により山崎に1万石の領地を得ています。その後、秀吉について大阪に住まいを移し、1583年キリシタンに改宗し、洗礼名をシメオンとしました。

1587年に大分県中津12万石を与えられています。中津市には今も姫路町があります。1589年44才で隠居をしましたが、文禄慶長の役では朝鮮に渡り、武将達の監視・目付役をしています。関ヶ原合戦以降は長男長政と共に福岡に移り住みました。

築城の名手として知られ、秀吉の姫路城、大阪城、中津城、広島城、高松城、名護屋城、福岡城を築城したり、縄張りの助言をしています。この門櫓の西面にある「十字の鬼瓦」は官兵衛に関連するものと伝わっていますが、この櫓が完成したのは官兵衛が大阪へ移ってから20年以上も後ですから官兵衛とは関係なさそうです。

### (4) 池田輝政 (1564～1613)

1583年19才で岐阜池尻城主になり、大垣城、岐阜城を経て25才で15万2千石の吉田(現在の豊橋市)城主、そして1600年36才で姫路城主になりました。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の天下人に仕えました。豊臣秀吉と徳川家康との小牧長久手の戦いでは秀吉側に付き、徳川軍との戦いで父と兄が戦死しましたが、後年、徳川家康の次女督姫と結婚しました。



関ヶ原の合戦では徳川方の武将として活躍し、家康の娘婿でもあるので播磨52万石を与えられ、秀吉が築いたお城を解体し、現在の姫路城を築きました。

1603年には備前28万石、1610年には淡路6万石を息子名義で与えられ、合計86万石となり、加賀102万石に次ぐ大大名になりました。

姫路という字が地名として定着したのは池田輝政以降です。

家紋は姫路城天守群で数多く見られる“揚羽蝶”です。

### (5) 本多忠政 (1575～1631)

徳川四天王の一人 本多忠勝の長男で、若いときから戦に出ており、1609年34才で伊勢桑名の城主になりました。姫路には1617年15万石の城主として入城しました。(千姫の化粧

料10万石は息子の忠刻に与えられた)

西の丸の築造、三の丸御殿、向屋敷、外堀・中堀の諸門整備等、池田輝政の姫路城に手を加え、現在見られる姫路城を1618年に完成させました。

船場川を改修し、飾磨との間を舟で行き来できるようにし、又、船場御坊を建立するなど姫路の町の発展に大変貢献しています。書写山円教寺に立派な墓があります。

家紋は三つ葉立葵で西の丸の長局で多数見ることができます。



西の丸と化粧櫓

## (6) 榊原忠次 (1605~1665)

徳川四天王の一人 榊原康政の孫であり、江戸幕府では一時期、大政参与という将軍の次に高い役職につき、それまでの悪習である殉死禁止令を出しています。

国元の姫路では夢前川の流路を変更し、流域の洪水を防ぐと共に湿地を水田に変えるなどの新田開発を行い、米の増産を実現しました。その他、港湾整備を行ない、荷物輸送を便利にするなど姫路藩発展につくしました。

学問、茶道、詩歌にも優れ、領民から“万年様”(領民のことを考え、いい政治をしてくれるので出来るだけ長く殿様でいて欲しいという意味がある)と慕われたそうです。歴代姫路城主31人の中で最高の名君であると思われています。

姫路城の修理にも本格的に取り組み、1656年大天守の大柱の補強工事をしています。

家紋は“源氏車”で「リの一渡櫓」付近に多数見られます。

増位山随願寺本堂を再建し、墓は随願寺にあります。

総社南参道の石の鳥居は榊原忠次が寄進したものです。



榊原忠次墓所の入口門(随願寺)

## (7) 河合寸翁 (1767~1841)

1787年20才で家老になり、1808年からは財政担当となり、播磨の特産品である木綿、塩、革、石材、鉄などの専売制(独占販売制度)を採用し、それまでの73万両という姫路藩の全収入の約5倍もの借金を返済しました。

その他に新田開発、港湾整備、貧民救済のための食糧備蓄倉庫(固寧倉)の設置、お菓子類の創作奨励など多方面で姫路藩の振興発展に貢献しました。特にすぐれた業績として、殿様からほうびとして頂いた土地(仁寿山)に私立の仁寿山校を開設し、領内外の武士・町民誰でも学ばせました。

1957年に寸翁の姫路への貢献をたたえ、姫路神社内に寸翁神社が建立されました。

## (8) 宮本武蔵 (1584～1645)

江戸時代を代表する二刀流の剣豪として有名です。沢庵和尚たくあんおしょうにさとされ、姫路城大天守 3 階の「不明の間」で修行したのは吉川英治という作家のつくり話です。

単なる剣豪、兵法者ではなく、多芸、多才の持ち主で、絵画、書、工芸品、造園にもすぐれた作品を各地に残しています。

姫路では本多氏との関係が深く、本多忠政の娘婿の小笠原忠真が明石城を築く時、町割（都市計画）するのに助言をしたと言われています。

最後は熊本の細川家に客分として招かれ、「五輪の書」を残しています。二人の養子の内、三木之助は本多忠刻（千姫の夫）の用人を努めていましたが、忠刻が病死した後、殉死じゆんししており、書写山の忠刻の墓の隣にほうむられています。もう 1 人の養子の伊織は明石の小笠原家に仕え、小笠原家が九州小倉に移った後、出世をし、家老となりました。

## (9) 中村重遠大佐 (1840～1884)

高知県宿毛市の出身で、西南の役では官軍として熊本城で西郷軍と戦い、その後は、陸軍の建設局に勤務していました。姫路城では 1875 年以降、一部の城門、櫓を次々と壊し、陸軍の兵舎が城内に建設されました。荒れた大天守も危険なので壊すという話が出ましたが、中村大佐は名城が壊れて無くなるのをおしめ 1878 年に保存建言書を政府に提出し、それが認められ、修理のための予算を確保しました。全国でたくさんのお城がなくなった中で姫路城が残ったのは彼のお陰です。

中村大佐の功績をたたえ、「菱の門」の内側に顕彰碑が建てられています。



中村大佐顕彰碑

## 9. 伝説

### 9-1. 姥が石

#### (1) 姥が石というのは何ですか、どこにありますか

1580 年羽柴秀吉が三重の天守を築く時、石垣用の石がなかなか集まりません。

このままではお城の完成が遅れてしまうと心配しました。

それを聞いた城下で焼きもちを売る貧しいおばあさん（姥）が、大切な商売道具である「石うす」を使ってくださいと言って差し出しました。この話を聞いた人たちが、私も私もと次々に石を持ってきたので、予定通りの時期にお城は完成しました。何事も初めが肝心で、秀吉は初めに持ってきたおばあさんをほめたたえる意味で、その「石うす」を石垣の中でよく



姥が石（水一門横）



目立つ所に置いたそうです。

今の姫路城を築いた池田輝政もこの「石うす」をたいせつに思い、現在の位置に置きました。おばあさんが持ってきた石という意味で「姥が石」と呼ばれています。

別の話として、お城の北側の石垣が崩れやすかったので、崩れるのを防ぐために「石うす」をはめ込み、これに、「姥が石」の名前をつけたとも言われています。

場所は本丸内の「水一門」に向って左側、乾小天守の北面石垣の中段にあり、よく目立つように緑色の網をかぶせています。

## 9-2. 桜井源兵衛と傾いた大天守

### (1) 姫路城が傾いていたのは本当ですか

江戸時代から傾いていたのは事実のようです。町民の間で伝わった歌に「巽（東南のこと）に傾く姫路の城は花のお江戸を恋しがる。」というのがあるほどです。

昭和28年に測った記録によると、本当に通し柱が東南方向に最大で37.7cmも傾いていたそうです。理由は大天守東南部の地盤が弱く、大天守の重みで沈下したためです。

### (2) 桜井源兵衛が自殺したのはなぜですか

池田輝政が築城したときの大工の棟梁桜井源兵衛はようやく完成した姫路城を長年苦勞させた妻に見せるために一緒に天守に登りました。そこで奥さんは「お城はりっぴにできていますが、巽（東南）に傾いているように思えます。」といいました。源兵衛は自分でもそのように感じていたので、建築にしろとうの女性でも分かるのかと自分の技量不足を恥ずかしく思い、ノミを口にくわえ、天守最上階から飛び下りて死んだと伝えられています。

別の伝説では、お城を築いた桜井源兵衛を池田輝政がお城の秘密を守るため、自殺に見せかけて殺したのではないとも言われています。

## 9-3. お菊井戸

### (1) お菊さんの話は本当ですか

約500年前、当時の姫路城の城主小寺則職が幼少であったので、執権（城主を補佐する役）の青山鉄山がお家横領を企てました。これを知った城主の忠実な家臣衣笠元信が情報収集のため、お菊さんを青山家に女中として住み込ませました。ところが青山家に入出していた町坪弾四郎がお菊さんを好きになり、結婚しようとせまりました。



上山里丸にあるお菊井戸

しかし、お菊さんが断わったため、家宝である10枚1組のお皿の1枚を隠し、お菊さんが割って隠したことにしました。このため、お菊さんは無実の罪を着せられ、切り殺されて井戸に投込まれたそうです。

それ以来、その井戸から、毎夜お菊さんがお皿を数える声がしたそうです。姫路城はこの話の約100年後の1609年に完成しています。人が切り殺されて、投込まれた井戸を後の人が使うとは思われないので多分作り話でしょう。

江戸時代は「瓶取りの井戸」と呼ばれていました。



(2) なぜ、お菊さんの話が広まったのですか

江戸時代にお菊さんの話が「播州皿屋敷」の題名で歌舞伎や争瑠璃で上演され、評判になったそうです。

さらに、1795年頃、ジャコウアゲハが全国的に大量発生し、そのサナギがあたかも女性が後ろ手にしばられ、吊り下げられたような形をしていたので、人々はお菊さんが恨んで虫になったとうわさをし、お菊虫と呼んだそうです。これがお菊さんの話と共に全国に広まったと伝わっています。

又、明治以降では1916年（大正5年）に岡本綺堂が江戸を舞台とした戯曲「番町皿屋敷」を書き、新歌舞伎として改めて上演され、さらに有名になりました。

その影響で、お菊伝説は今では全国で48ヶ所もあり、その内23ヶ所で姫路とよく似た話になっています。



ジャコウアゲハ



ジャコウアゲハのサナギ

(3) お菊井戸の深さはどれくらいですか

現在の深さは15mです。昔は20mあったと言われています。

(4) お菊虫はまだいますか

ジャコウアゲハ蝶は日本では北海道を除く地域に生息しており、その幼虫は「ウマノズクサ」という草しか食べません。ジャコウアゲハ蝶は1989年に姫路市蝶に指定されています。それで、姫路市内では約40の小学校で「ウマノズクサ」を育てています。この草は手柄山の植物園、好古園の苗の庭や中の門で見ることができます。

(5) お菊神社はどこにありますか

JR姫路駅の北西で西行き国道2号線の南側で、駅から徒歩10分ほどの十二所前町の十二所神社境内にあります。



お菊神社

(6) お菊神社はなぜ建てられたのですか

江戸時代の中期に播州皿屋敷を上演した歌舞伎の関係者がお菊さんのうらみをしずめるため、建てたと伝わっています。また、お菊さんが殺されてから、数年後に、殿様の小寺則職がお菊さんの霊をなぐさめるために建立したとも伝わっています。

(7) お菊さんは何才で死んだのですか

1506年5月8日、21才で亡くなったことになっています。

お菊神社のお祭りはお菊さんの霊をなぐさめるため、5月8日に行われます。

9-4. 腹切丸 はらきりまる

(1) 腹切丸はどこにありますか

備前丸の東下の通路の更に東に帯櫓があります。通路から階段を下り、帯櫓の地下の穴門

をくぐり坂道をおりたところにある小さな区画のことです。出入口はこの穴門だけです。井戸と帯郭櫓おびくるわやぐらがあり江戸時代は「井戸曲輪」と呼ばれていました。

(2) なぜ腹切丸というのですか

帯郭櫓の1階の中央部は壁がなく、庭に面して板張りの床があり、奥に一段高い板張りの棚があります。又、庭には井戸があります。

このような構成が、奥の一段高い板張りの棚の上に検視役人が座り、罪人が前の低い板張りの床で腹を切り、落とした首を庭の井戸水で洗うという芝居でみる切腹場面によく似ているので、大正時代に腹切丸と名付けられたようです。

城内で腹を切ったことはどのお城でもなかったと思われま

す。帯郭櫓の一段高い板張りの棚は奥壁の狭間から敵を撃つための足場（石打ち棚）です。



帯郭櫓

## 10. 昭和の大修理

(1) 「昭和の大修理」による天守の修理は何年かかったのですか

天守群の解体修理は、1956年（昭和31年）から1964年（昭和39年）まで8年間をかけて行われました。

「昭和の大修理」は、天守群だけではなく、城内すべての建物が対象で、1934年（昭和9年）に「西の丸」の櫓が豪雨のために崩壊ほうかいしたことがきっかけとして1935年から始まり、その後太平洋戦争で一時中断しましたが、1964年の天守群修理完成までの約30年にわたって行われました。

(2) 「昭和の大修理」による天守修理はどのように行われたのですか

築城以来、初めて天守群の建築物をすべて解体して、損傷した部材を新しい部材と交換して、再び組立てるとい

う修理工事でしたから、築城に匹敵ひつてきする大工事「昭和の築城」と言われました。天守群の修理費用は当時の金額で約5.5億円を要しました。

また約8年間の天守群の解体組立工事に要した人員は、延べ約25万人とされています。

(3) 「昭和の大修理」では天守台の石垣も修理しましたか

石垣は積み直しのような大規模な修理は行っていません。ただ天守台東南隅部の石が6個割れていた

ので修理を行っています。大きな石の隙間に入っている小さな石（間詰石まづめいし）の詰め替えを行っています。



昭和の素屋根

(4) 「昭和の大修理」時の大天守素屋根は、どんな構造でしたか

素屋根はヒノキ（櫓）の丸太（直径12cm以上）を10,000本以上使用して組立てました。姫路城のような大型文化財の修理用素屋根としては、最後の丸太づくりであったようです。この素屋根の高さは約53m、工事費は約3,600万円、工期は7カ月でした。

(5) 「昭和の大修理」時の大天守大柱はどのように修理しましたか

姫路城大天守には2本の大柱がありますが、東の大柱(モミ)は根元の腐食部分(5.4m)を取りのぞきヒノキ材で根継ぎしました。

西の大柱は築城当時より上下二本継ぎになっていましたが、2本共に腐食によって再使用が困難であったため取りかえることになりました。新しい柱は東の大柱と同じ1本の柱にするため全国を捜して、やっと岐阜県で見つけましたが、姫路への輸送の途中で折れてしまいました。このため新しい大柱の下部にこの岐阜県の木曽ヒノキを、上部に市川町の笠形神社の御神木(ヒノキ)を用いて前と同じく3階で二本継ぎとされました。

## 1 1. 平成の修理

(1) 「平成の修理」はどんな修理ですか

「昭和の大修理」から45年経った2009年(平成21年)10月から2015年(平成27年)3月まで、5年半の歳月をかけて大天守の修理が行われました。

75,000枚の屋根瓦を全て取り外し、瓦の下にある野地板の修理を行い、瓦の継ぎ目を覆っている目地漆喰も塗り替えました。昭和の大修理時の瓦のうち、今回は傷みの激しい約16,000枚を新替えし、残りは再使用しています。

姫路城の特徴である漆喰壁も塗り替えられました。漆喰は分厚い土壁の上に約30mmと非常に厚く塗られています。最上階は土壁も傷んでいたため土壁も新しくしました。この時に、最上階四隅に「幻の窓」が発見されました。

又、耐震補強工事も行われ、震度5強に耐えられる構造に強化されました。

工事費用は約23億円で国(文部科学省)が65%、姫路市が35%を負担しました。



鉄骨で組立てた工事用素屋根  
見学用エレベーター付き

(2) 「平成の修理」の素屋根にはどんな特徴がありますか

素屋根は「天空の白鷺」と名付けられ、エレベーターを設置し大天守の外側から間近に修理の様子が見学できました。素屋根の高さは約53m、重さは約6,000トンとたいへん巨大な施設で、建設に1年かかりました。

素屋根の周囲には、メッシュシート(1.8m×5.1m 約800枚)が張られ、南面と東面には大天守の実物大の巨大なギネス級の大天守の壁画が描かれていました。



平成の素屋根

(3) なぜ姫路城を修理しているのですか

姫路城では「昭和の大修理」によって大規模な修理が行われましたが、姫路城の建築物は白



漆喰総塗籠造りであることから、壁面漆喰の剥離などの損傷や雨漏れなどのために漆喰の修理が定期的に必要です。姫路城では約 30 年周期ですべての建築物の屋根・壁の修理を行っています。

大天守については大規模な素屋根が必要となるので、長持ちさせるために漆喰を厚く塗り、約 50 年周期で修理を行うようです。

(4) 将来にも姫路城の解体修理は必要ですか

姫路城大天守は「昭和の大修理」時に築城以来約 350 年ぶりに解体修理が行われましたが、次の解体修理が必要となるのは「昭和の大修理」後から約 280 年後(2250 年前後)と考えられているようです。

(5) これまでに何回くらい修理をしていますか

大天守は高いところにあるので、風当たりがきつく、傷みやすいので修理が必要で、江戸時代には支柱補強等の構造補強 21 回、屋根修理 9 回合計 30 回も修理した記録があります。城主がいなくなった明治以降は、明治末の 1911 年に当時の姫路城の所有者である陸軍が構造補強、瓦の葺き替え、壁漆喰の塗り替えなどの大修理を行いました。

それから約 50 年後に「昭和の大修理」で説明したように 1956 年から 1964 年まで昭和の築城と言われた天守群の大工事を行いました。

そして「平成の修理」は明治以降としては 3 回目ですが、いわばお化粧直しです。しかし、屋根瓦を外すので雨対策として素屋根が必要になり、工事期間の長い、大型工事になりました。

従って、姫路城大天守は 33 回修理をしたことになります。



明治の修理(素屋根がない)

(6) 姫路城を維持するのに毎年どれくらいかかりますか

維持管理費として 2015 年当時で、年間約 3 億 5 千万円が必要で、このほかに定期修理工事費として約 5 千万円を予定しているそうです。

## 1 2. 世界文化遺産

(1) 姫路城はいつ世界文化遺産に登録されたのですか

姫路城は、1993 年(平成 5 年)12 月 11 日に法隆寺と共に、日本で最初に世界文化遺産に登録されました。姫路城の管理事務所資料室に登録証のコピーが展示してあります。

(2) 姫路城はなぜ世界文化遺産に登録されたのですか

世界文化遺産は全世界や地域に住む人々の誇る文化財ですからユネスコによる厳しい審査が



行われます。姫路城はそのユネスコから次の評価を受け、世界文化遺産に登録されました。

- ①白鷺城とも言われ、美的完成度が高く、その美しさは日本の木造建築物の中でも最高のものであり、世界的にも例のない優れたものである。
- ②現存する最大の城郭建築であり、江戸時代初期の城郭の特徴をよく表している。
- ③天守群を中心に櫓・門・塀などの建築物、石垣・堀などの土木構造物が良好に保存されている。

(3) 姫路城以外に世界文化遺産のお城はどこですか

姫路城以外で世界文化遺産に登録されている日本のお城には次のものがあります。

- ①「古都京都の文化財」(1994年)で「二条城」が他の16社寺とともに登録されました。
- ②「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」(2000年)で「首里城<sup>しゅりじょう</sup>など5城跡」が登録されています。
- ③「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(2018年)で「原城跡」が登録されています。

参考：2019 現在 日本で世界遺産 23 件 (文化遺産 19 件 自然遺産 4 件)

## 13. 観 光

(1) 年間見学者は何人くらいですか

「平成の修理」直後の2015年度の入城者数は過去最高の286万人で、2019年度は新型コロナウイルスの影響もあり155万人でした。

(2) 年間何回くらいTVの撮影がありますか

映画・TVドラマの撮影、ニュース番組取材、有名人の来城取材、ドキュメント取材などで2019年度は年間135回でした。

(3) 姫路城はどれくらい有名ですか

姫路城は江戸時代からその規模の雄大さと美しさで名古屋城、熊本城と共に天下の三名城として有名でした。

姫路城は1951年に文化史的、学術的価値が高いと文部省(今の文部科学省)に評価され、国宝に指定されました。それ以降も城郭研究学者・専門家、各種城郭関連協会・団体などから高い評価を受けています。

1951年 国宝に指定 (文部科学省)

1993年 世界文化遺産に日本の第1号として法隆寺と同時登録 (ユネスコ)

2006年 日本100名城に指定 (財団法人 日本城郭協会)

2007年 ミシュランガイドで三ツ星認定 (フランスのミシュラン社)

(ミシュランガイドは世界で最も権威のある観光案内書で、三ツ星の意味は旅行の日程を変更してでも、行き先を変更してでも見る価値があるとされている。)

これらの評価で姫路城の知名度が上がり、国内外の大勢の観光客が姫路城に来城するように

なりました。そして、感動した観光客が姫路城のすばらしさをトリップアドバイザー社（TA社）という世界最大のインターネットのクチコミサイトに投稿してくれました。TA社の城郭関連のクチコミ集計は以下となっています。（2020年も集計順位は変わっていません）

2016年 旅好きが選ぶ日本の城 第1位

2017年 死ぬまでに行きたい世界のトップ25城 第2位（1位はドイツの城）

そのほかに、2019年に某TV局の番組「お城総選挙」でもダントツの1位でした。

以上のことから、姫路城は日本国内だけではなく海外でも有名であることが分かります。

#### （4）お城の女王をなぜ選ぶのですか

お城祭りは1947年に始まりましたが、お城の女王は1968年から選ばれていて、2020年で第53代目となります。選ぶ理由は、話題を作り、少しでも多くの人にお城祭りに参加してもらい、あるいは見に来てもらい祭りを盛り上げるためです。

お城の女王の役目は観光親善大使として、全国を回り、姫路をPRすることで、任期は1年間です。

#### （5）なぜ内曲輪に動物園があるのですか

1951年に当時のレジャー施設として、市民が行きやすいように、姫路駅から近く、お城も見ることができ、又、近くに民家のない内曲輪に開園されたそうです。

当時の人気者はタイから来た象の「姫子」でした。

## 14. その他

#### （1）殿様はどこに住んでいたのですか

池田家は大天守のすぐ下の備前丸御殿に、本多家、松平家（奥平系）、松平家（結城系）、榊原家は三の丸西の高台（現在の千姫ぼたん園）にあった三の丸御殿に、酒井家は東お屋敷（現在の城見台公園）に住んでいました。

#### （2）お城には何人位住んでいたのですか

内曲輪には城主とその家族、中曲輪には侍達が住み、外曲輪には足軽たちと町民が住み、寺社がありました。侍、足軽の数で言えば池田時代は不明ですが、本多時代は約4千人、榊原時代は約3千人、酒井時代は約2千2百人いたそうです。城内全体では侍の家族、町民を含めれば最盛期には約2万5千人が住んでいたと思われます。

#### （3）忍者はお城にいましたか

忍者に相当する情報収集者は池田時代59人いたそうです。

忍町は彼等がまとまって住んでいたのが町名となりました。

(4) なぜ無戦の城というのですか

池田輝政は敵を防ぐために様々な仕掛けをしたのですが、姫路城は一度も戦いを経験していません。明治維新の時に官軍についた岡山藩に城を囲まれましたが、城主が徳川将軍と行動を共にし、不在であったので、官軍と話し合いを行い、開城したので戦闘はありませんでした。だから無戦の城といわれています。

(5) 侍は朝昼晩とご飯はお城で食べたのですか

江戸時代初期までは日本人の食事は1日朝夕の2回でした。お汁とおかずが1品ずつでご飯は玄米を2.5合ほど食べていたそうです。江戸中期以降は1日3食となったようです。侍は弁当を持ってきて、お城で食べたようです。

(6) なぜ大天守に神社があるのですか

大天守6階にまつてある神社は刑部神社<sup>おきかべ</sup>という姫路城の守護社(神)で、お城を造る時、その土地の地霊などが人や建物にたたらないように守ってもらうために建立するものです。元々は平安時代から姫山にあった地主神であると伝わっています。姫路城の刑部神社は羽柴秀吉が築城のときに姫山から総社に移したようですが、池田輝政が改めて守護神として搦め手の「との三門」近くに再建し、以後歴代の城主が守護社としたそうです。天守に神社があるのは珍しいのですが、ほとんどのお城には城内のどこかに神社があります。

江戸時代には大天守に神社はなかったそうですが、明治の大修理後の1912年からの大天守一般公開にそなえ、姫路城を長く守ってくれることを願って刑部神社が建立されたようです。この神社は1946年にアメリカ軍の命令で姫路神社に預けられたそうですがその後は不明です。今の神社が大天守に置かれたのは昭和の大修理後の1965年からです。

大天守の刑部神社の神様と毎年6月に開催される“ゆかた祭り”の時にお参りする立町の長壁神社の神様とは字は違っていますが同じです。

(7) なぜ広嶺山に官兵衛神社が建てられたのですか

2014年(平成26年)、NHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」が放映され、黒田官兵衛と姫路城の知名度が上がり、姫路城への来場者が増えました。これを記念して2019年に黒田家とゆかりの深い廣峯神社境内に官兵衛神社を建立しました。

今から約500年前、廣峯神社には各地を巡回する御師<sup>おし</sup>と呼ばれる布教者たちがいました。彼らは各地で得た最新情報を官兵衛に知らせ、官兵衛はその情報を分析し、羽柴秀吉に適切な助言をおこなって、軍師としての才能を発揮、秀吉の天下取りを助けたのです。



官兵衛神社



## 15. 好古園（姫路城西御屋敷跡庭園）

(1) 好古園の名前の由来は何ですか、江戸時代からありましたか

「好古園」の愛称は、江戸時代の最後の姫路藩主酒井家によって開校された文武両道の振興を図った藩校「好古堂」に因んでいます。好古園の場所には江戸時代を通じて藩主の下屋敷や侍屋敷がありましたが、幕末に好古園の入口付近に好古堂が移設されました。

好古園は、江戸時代の区画割や通路の地割を生かして、姫路市制百周年を記念して1992年（平成4年）に開園しました。園内の植物は江戸時代に親しまれた樹木、草木を主体に85種1万本が植えられています。

(2) どのくらいの広さですか、甲子園球場より大きいですか

好古園は3.5ha（ヘクタール）、甲子園球場は3.85ha（ヘクタール）なので、甲子園の方が少し大きいです。

(3) 好古園の見所はどこですか

瀬戸内海をイメージした大池のある「御屋敷の庭」を始め。大小9つの庭はそれぞれ特徴があり西の丸の樹林と姫路城を借景として各所に見所があります。

(4) 好古園内から天守は見えますか

「流れの平庭」、「夏木の庭」、「築山池泉の庭」から天守の一部が見えます。

(5) テレビや映画のロケ場所がありますか

国内外の映画やドラマのロケーションが行われています。近年ですと、「るろうに剣心」や「関ヶ原」の撮影が行われました。

(6) 何人くらいお客さんが来ますか

2019年5月に累計入園者数が600万人を突破しました。紅葉のシーズンは1日8000人近くの入園者がありました。

(7) 鯉は何匹いますか

現在、御屋敷の庭の大地に約200匹、「築山池泉の庭」、「松の庭」、「夏木の庭」、「流れの平庭」に合わせて約50匹いると言われています。

(8) 池には鯉以外に何がいますか。

メダカがたくさんいます。カエルやエビ、よく探せば亀やスッポンもいるみたいです。

(9) ホタルはいますか

現在ホタルはいません。10年ほど前までホタルを飼う目的でカワニナを養殖していましたが、うまくいかなかったようです。

(10) 園内の花について教えてください

花の庭を中心に、ヤマボウシ、サルスベリ、シャクナゲ、モクレン、リンドウ等の植栽が四季それぞれにきれいに咲き誇ります。

(11) お庭には休憩所のような建物が有りますが、何という建物ですか

この建物は一般に四阿あずまやといい、好古園では花笠亭かりゆてい（花の庭）、臨泉亭りんせんてい（築山池泉の庭）、聞竹亭もんちくてい（竹の庭）、流翠亭りゅうすいてい（流れの平庭）、鷺望亭ろぼうてい（夏木の庭）と呼んでいます。

(12) 通路の築地塀ついでいの色が違うのはなぜですか

白漆喰壁と黄身がかった漆喰壁があります。白漆喰壁の築地塀は位の高い侍屋敷まむらいやしきで、黄身がかった漆喰壁は中漆喰壁なかしつくいかわと言い、この中漆喰壁の築地塀は少し身分の低い侍屋敷に使われました。

(13) お庭にはどんな灯笼とうろうが有りますか

「抽ノ木型ひきのきがた」、「三月堂型さんげだうがた」、「勧修寺型かんしゅうじがた」等 23 種類もの灯笼があります。

(14) 垣根の名前を教えてください

垣根の種類は、11 種類「桂垣かつらがき」、「松明垣たいまつがき」、「うぐいす垣うぐいすがき」、「御簾垣みすだかき」、「金閣寺垣きんかくじがき」、「建仁寺垣けんにんじがき」、「木賊垣とくまがき」、「光悦寺垣こうえつじがき」、「四つ目垣よつめがき」、「二尊院垣にそんいんがき」、「沼津垣ぬまづがき」があります。

(15) 瓦のマークは何か意味がありますか

瓦のマークは家紋です。「御屋敷の庭」の家紋は江戸時代中頃の姫路藩主だった榊原家さかきばらの源氏車紋を採用しています。これは藩主の榊原政岑公さかきばらまさきみが高尾太夫たかおだゆうを西御屋敷に住ませた伝説から採用されました。「苗の庭」と「茶の庭」も源氏車紋です。他の庭の築地塀には三つ巴紋、管理事務所の屋根は姫路城最初の藩主池田家の揚羽蝶紋が使われています。



築山池泉の庭（右上奥に天守が見える）



御屋敷の庭の大池（鯉が悠然と泳ぐ）

## 参考文献

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 姫路城保存修理工事報告書    | 文化財保護委員会   |
| 姫路市史            | 姫路市        |
| 歴史読本 姫路のあゆみ     | 姫路市教育委員会   |
| 姫路城公式ガイドブック     | 姫路市教育委員会   |
| 姫路城・昭和の修理をふりかえる | 姫路市教育委員会   |
| 姫路—お城物語         | 姫路市教育委員会   |
| 天空の白鷺ハンドブック     | 姫路市城周辺整備室  |
| 城郭研究室年報         | 姫路市立城郭研究室  |
| 姫路城の基礎知識        | 姫路市立城郭研究室  |
| 増補 姫路城石垣の魅力     | 姫路市立城郭研究室  |
| 姫路城の話 橋本政次      | (社) 姫路観光協会 |
| 国宝 姫路城          | 朝日新聞社      |
| 姫路城史 橋本政次       | 姫路城史刊行会    |
| 姫路城の建築と構造       | 加藤得二       |
| 日本名城集成 姫路城      | 加藤得二他      |
| 日本城郭辞典          | 小学館        |
| 城造りのすべて         | 三浦正幸監修     |

## 写真・図面提供

- 姫路市  
姫路市城周辺整備室  
姫路市立城郭研究室  
姫路城西御屋敷跡庭園 好古園  
毎日新聞社（碧水社）  
播磨の黒田武士顕彰会



## おわりに

私たちが目にする姫路城は約 400 年前に建設された数多くの建物・堀・石垣などが良好な状態で現在に伝えられているのですが、それは江戸時代の歴代の城主、明治以降になれば政府、陸軍、文部科学省、そして姫路市が修理、保存管理、広報にたゆまない努力を続けてきたからなのです。

だから小学生の皆さんも姫路城に関する知識を身に着け、姫路市民としてこのすばらしいお城を後世に伝える義務があると思っています。そのためにこの冊子が役立つことを願っています。

姫路城に関する大人向けの出版物は本当にたくさんありますが、小学生向けは数も少なく、内容も大人向けとほとんど変わらないものとなっています。この改訂版は初版と同じく、小学生のみなさんからの質問に答える 1 問 1 答の形式をとっています。だから皆さんの目線で解説し、できるだけ分かりやすい言葉を選び、やさしい内容としたつもりです。一部に読みにくい人名、建築専門用語などありますが、難しい漢字にはふりがなを付けているので分かりやすいと思います。また、伝説などの項目では私たちの独断の部分もあることをご承知ください。

今回もさまざまな形でご指導いただいた姫路市生涯現役推進室、姫路市教育委員会、姫路城管理事務所、姫路市立城郭研究室、姫路市 市民活動・ボランティアサポートセンター、姫路市シルバー人材センター、好古園兼近暁園長、など多くの関係組織団体の方々に厚くお礼を申し上げます。

今回の改訂版の発行には次のしろまる会会員と好古園園長が当たりました。

監修	明石常雄、小高丈機、森喜一
執筆	大森晋作、坂下照光、田中美也子、 萩原たか子、松岡千枝、山中広明 兼近暁（好古園園長）
編集	小島昌樹
発行	しろまる会 会長 中水久智 〒671-1104 姫路市的形町の形 1742-21 電話 090-8239-1527





姫路城縄張図



しろまる会